京城日報
大正七年八月七日（水曜日）

八月六日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇○○日迄に○○隊出動

○○○○大隊に對し○日動員令下りこれが爲新任隊長○○中佐急遽○○に着任し直に會議を開始せり今回の○○出動は○○にして來る○日より輸送し全部隊は○○日迄に全部出征す可し（東京特電）

◇我艦艇派遣理由

黒龍江沿岸に多數の敵國俘虜あり

露領沿海州方面へ我艦艇派遣に就き小村海軍省副官は語つて曰く黒龍江には河用砲艦あり外海への出動無かるべきも沿岸には多數の獨墺俘虜あり又波羅的艦隊の俘虜もあり商船を奪掠し尚ほ武裝して掠奪を爲す虞あり何時無辜の邦人に危害を加へる事無きを保せず此の保護と萬一在留邦人危險の際の措置を執る爲め同方面へ派遣するなりと（東京特電）

◇過激募兵不成績

ブラゴエチエンスクには武裝せるマジヤール人掠奪し同地過激派はアレクセーフスクに移轉し募兵しつゝあるも成績面白からず同地在留日本人は黒河に避難し始めたり（哈爾賓電報）

◇敵猛襲チ軍退却

[illegible]烏蘇里附近にありしチエック軍は二日過激派一旅團の敵の攻擊を受けシヤコフ附近に退却せり（東京特電）

◇ホ將軍浦鹽移轉

グロデコウオに在りしホルワット將軍は三日閣僚と共に浦鹽に移轉せり（哈爾賓電報）

◇林建章浦鹽派遣

[illegible]支那艦隊長林建章氏を海軍大將に任じ浦鹽に派遣せり同地支那海陸軍隊を指揮せしむる旨三日大總統令にて公布したり（北京特電）

◇浦滿間電信架設

孟恩遠將軍は浦鹽、滿洲里間の電信線架設を政府に稟請したるが右は近く財政、交通部にて架設に着手す可しと（奉天特電）

◇浦哈間不日開通

浦鹽哈爾賓間の東清鐵道は曾て不通なりしがチエック軍の前進と共に近日中開通すべしと元山入港の某船客は語れり（元山電報）

◇外交事務統一 商議

奉天總領事赤塚正助氏は六日京奉線にて北京に向ひ出發せるが北京に於ける要務は滿洲外交事務の統一に就き林公使と面會し且つ支那側の鑛山問題壓迫に就き支那政府と商議する爲なりと傳へらる（奉天特電）

◇孫烈臣天津行

奉天督軍署參謀長孫烈臣氏は三日京奉線にて天津に赴き同地にて[illegible]と會見し五日長沙に赴く豫定なり（奉天特電）

◇首相要案伏奏

寺內首相は五日閣議終了後一時五十分參內重要事項の御裁可を仰ぎ更に重要問題を伏奏し二時四十五分退出せり（東京特電）

◇外務參事官任命

五日左の通り辭令ありたり（東京電報）

任外務參事官（[illegible]） [illegible]

[illegible]

◇鐵嶺領事任命

[illegible]

◇前田代議士

[illegible]五日[illegible]にて還京せり（東京特電）

◇安奉線開通

安奉線不通箇所修理成り五日朝より開通し[illegible]も列車不通の爲め數日來[illegible]に滯在中の處安東驛發の上り同日午後八時四十分發列車にて北行せり（安東特電）

◇湖南邦商活動

石炭材木の賣物多し

[illegible]下らざる可し（同上）

◎棉作地擴張計畫

目下實行方法に就て審議中

總督府にては朝鮮の棉作地を大々的に擴張す可く計畫あり目下實行方法に就て審議中にて愈々總督の決裁を經て決定に至る迄には尙ほ多少の時日を要す可きが十個年繼續事業として最小限度として尙現在の陸地棉作總面積の二倍に擴張す可き計畫なり

△面積の二倍 に擴張す可き當地右に就き某專門家は語る『現在の陸地棉作付反別は約十一萬五千町步にて假りに一反步に一百斤の收穫ありとして一億一千五百萬斤の綿花額を示し此內繰綿とするものは三割の三千三百萬斤に過ぎず然も一反步百斤の收穫と云ふは稀なる成績にて實際は之れ以下に降るは認むるに難からず而して內地の棉作額は如何と見るに殆ど問題とならざるなり即ち內地棉作の最盛時代と云ふ可き明治十六年より同二十年迄は作付總面積約十萬町步を有したれど逐年地目變更され大正三年には僅に二萬四千町步に激減し收穫高七十萬斤に減ぜり

△現在に於て は[illegible]

[illegible]

△殆んど無限に [illegible]

△獨米英伊へ向 け[illegible]

△北軍より發砲 [illegible]

◎滿洲より支那本土へ

朝鮮製煙會社の進出方針

朝鮮製煙常務 岩谷二郎氏談

[illegible]

△刻下の急務 [illegible]

△煙草業 に[illegible]

△總督府 で[illegible]

△日本の製煙 [illegible]

△滿洲進出 が[illegible]

△口に入るを [illegible]

△朝鮮專賣制 の[illegible]

◎定例長官會議

[illegible]

◎朝鮮古代の佛教

海印寺の大藏經

[illegible]

△慶長の役には [illegible]

△日本書紀には [illegible]

△多數義僧を率 ゐて[illegible]

△浩翰なる藏經 あり[illegible]

△寶物の守護に 低し[illegible]

◎殖銀應募株の割當に就て

中村幹事談

[illegible]

◎兒島中將著任

新任憲兵司令官兼警務總長兒島惣次郎中將は六日午後九時十分南大門驛着列車にて入京す可し

◎早川少將出發

平壤第三十九旅團長早川[illegible]少將は[illegible]

◎內野少將出張

[illegible]第四十旅團長內野少將は五日龍山驛發にて大田大邱部隊初[illegible]のため出張せり

◎松永長官歸省

松永京畿道長官は六日出發郷里鹿兒島及び東京方面へ向ひたるが往復三週間の豫定なりと

◎美濃部總裁歸京

東上中なりし朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は[illegible]六日午後九時十分南大門着列車にて歸任す

人事消息

[illegible]

茶前酒後

[illegible]

◎商號變更
元古我商會今回左記の通り改稱仕り從前通り無變化營業罷在候間倍舊の御引立願上候
龍山京町十四番地
鐵道用品一切
洋鐵鋼類
カナヘ商會
岡本宇之助
電話一五一番
大正七年七月一日

朝鮮總督府中央試驗場發明
各官衙指定品
エーアイ塗料 ルミナ金屬磨 販賣
[illegible]
朝鮮一手販賣元
京城太平通二丁目（電話七二七・振替京城三一七九番）
石炭商 西崎商會

洗濯石鹼角形專門
角形石鹼元祖 浦本石鹼工場
京城南米倉町二八四番地
電話一二九四番 振替京城三一三九番

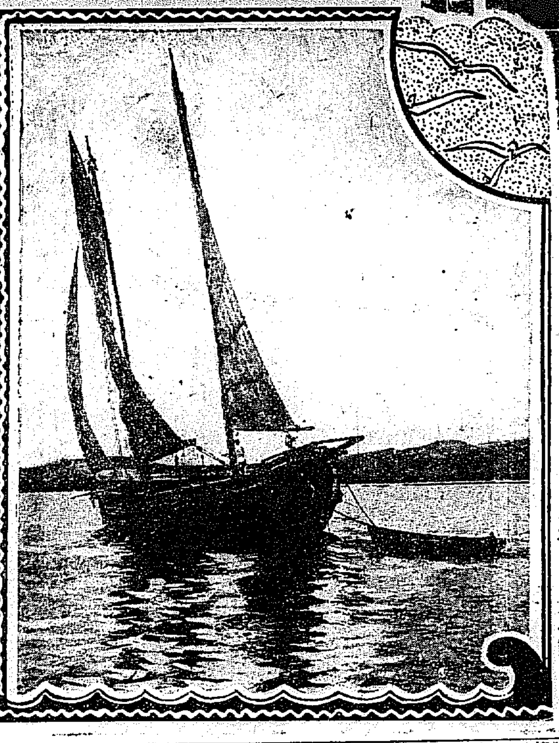
內科 呼吸器病 腸胃病
小兒科 婦人病
今村醫院
京城若草町大通り 電話一八三一番

銘酒
金釜 銀釜 菊正宗 楠正宗
特約店 三巴京城支店
電話八三七 八五 〇三番

砂糖株の有望
公信株式現物問屋・信託
砂糖株の沈滯久しきは[illegible]
京城永樂町二丁目 電話二〇九八番
丸五商會 有田長

賣品廣告
一 輕便軌條 拾貳碼物 延長約壹萬呎
一 車輛 繼目板捻釘犬釘 甚九郎外一切
詳細は左記の者へ御照會相成度候也
仁川宮町壹丁目
賣主 鬼頭商店
壽秋鐵商店 電話二二一番

純良の藥品と賣藥お揃つて居ります
クラブ化粧品代理店ですから御値が安いです
京城本町二丁目角
古城贊化堂
電話一〇二番



◇月下の舟＝漢江にて撮影＝

◎軍國多事の秋 長岡將軍の感慨
星ケ岡茶寮に催されたる 牙山會の席上の憶ひ出話

七月二十九日！荏々廿五星霜の昔安城渡邊曉の暗を破る銃聲に日清戰役の木の幕は切つて落された其日を記念すべく星ケ岡茶寮の涼風に坐したのは當年の旅團長

★大島大將 當年の參謀長岡外史將軍以下何れも驍名を轟かした勇將の面々其他十有八名が席に列つて將に酣ならんとする頃長岡將軍の追懷談＝『僕はあの時分は參謀少佐さ成歡にも平壤にも九連城にも皆やつた、考へて見ると最早廿五年の昔だ。しかし現役にこそ居ないが歐洲の戰爭の模樣を見ると此儘老い朽ちて了ふ譯にはいかない。それで僕は飛行機といふものが軍事上最も必要なものだといふ事を信ずると共に極力其の[illegible]につとめてゐる次第だ』

★飛行機も 日に增し進歩して來て今ぢや一時間に百七十哩も飛ぶ樣になつてをる。現在歐洲戰亂の報告を聞くに飛行機の動作は實に敵味方の勝負を決すべき前提とも思はれる僕は日本帝國の軍隊がこれを研究して一段の光彩を放つ事を希望して止まんのだや、僕が帝國飛行協會の一員として熱心に內地の有產社會に遊說して斯業の發達を圖つてゐるのも只其爲許りぢやこの間も僕はこの機運を起す爲めに朝鮮に渡つた

★朝鮮は實 に明治二十七八年以來忘るゝ事の出來ない所ぢやまして今日は牙山戰爭の記念日ぢや、朝鮮のことを思ふと懷しくなる、朝鮮に行つたのは今春の事で、私は思ひ出多い成歡に行きました。ところが其時の戰爭で名譽の戰死を遂げた松崎大尉の記念碑が建つてをる。其記念碑が小高い山の上にあるので、どうも不思議な事だと思つてゐると、其所に一人の老兵上等兵がやつて來て其時の戰爭の模樣を詳しく手に取る樣に語り出した、其話の巧さといふ事ッたら、丸で立板に水といふ感があつた。しかし其言ふ所は

★皆虛言で 事實と合ふ所は少しもない、彼は僕を其時の參謀たる長岡であるといふ事を知らんのだから仕方がない、もう昔のものは僕等時代のことを知らないのだ、感慨に堪へないわけされそこで上等兵に向つて『貴樣の言ふ事は皆虛妄許りだ、少しも事實と合つてゐない俺は其時の參謀で此戰爭の事は詳しく知つてる、松崎大尉の死んだのは安城渡しの村はづれだ、私が詳しく敎へてやる』といつて實地に就て詳しく說明してやると

★彼上等兵 の奴コソコソ逃げてしまつた、そこで成歡驛の有志者にも話して聞かしてやつたら大いに喜んで、それでは松崎大尉の戰死の跡に記念碑を立てるから大島大將の揮毫を願つてくれといふから、此處に居られる大島閣下に願つて送つてやつたが其後はどうなつたか知らない』と大島閣下、私は其時の參謀として朝鮮の內外から飛行將軍として歡迎せられた事を意外に思ひました、けれ共今日では飛行機の將來の爲め一身を犧牲に供してゐるのであります

★世の中は 實に有爲轉變であります、成歡では、こんなに相違がありましたが平壤では又別な感じが致しました、繁華の程度は大さ地程違つてゐる平壤も昔と今とは猶土地の人の感想も變つてゐない事であります、道長官や其他の有志者の案內で戰爭の跡を見て廻りました、あの時の師團司令部は學校となつて居ります、門前の石に多少の異動はありますが昔の姿であります、牡丹臺や乙密臺も格別の變りはありませんが今

★牡丹臺の 下におまきの茶屋といふのが出來て居りますおまきの茶屋で道長官や旅團長などの歡應を受けました、そして大いに昔を追想したのであります大同江を隔てた川向ふの船橋里の戰ひは實に平壤に於て最も慘澹を極めた場所であります、閣下も御存じの通り西島武田の兩聯隊は頑强の敵と共に全滅の覺悟で苦戰した所であります、今平壤に居る日本人は猶其事を知つてをつてか公園地として保存してゐてくれますから

★昔の面影 を想像する事が出來ます』長岡將軍は斯談じ終り慨然として暫時は胸に餘る感慨に言ふ所を知らなかつた、折から盃盤が運ばれたので惜しいかな話は中絶してしまつた（東京支局）

◎浦鹽聯合軍の 總司令官は
大井成元中將ならんか

浦鹽に出兵すべき日本、英國、米國、支那等の聯合軍の總指揮權は日本に委任するに各國も異議なきもの、如くなるが果して愈く決定したる場合何人が總指揮者たるかに就ては尾野實信氏無論我陸軍部內有數の偉材たりと雖も獨逸に前後九年駐在して歐洲の事情に精通し而も敗殘國の國語を操り一面尾野氏に先任たる計りならず現師團長中の先任者なる大井成元氏之が大任を負ふは殆んど確定の事實なりといふ青島に出動の際は軍司令官の下に少將級の山梨少將を參謀長に任じたるが今回は如何にさるべきや聯合軍の總指揮者たる大井中將としての參謀長に第○○師團參謀長○○步兵大佐にては實力に於てこそ[illegible]に一步も讓らざれ共階級に於て充分ならざるが如きあり此點よりして作戰訓示を發する前或は別に出動軍參謀長の任命を見るやも知れざるべく又今回は青島出動の場合と目的を異にすれば或は夫迄に及ばざるやも知れずと傳へらる（門司電報）

◎物々しく改められた 「野戰軍司令部」
戰時氣分に極度の緊張を 示せる○○市中の大混雜

○○より愈々○○第○○に入る第○○師團司令部も同日より『野戰軍司令部』と改め肉動き骨鳴るが如き衞戍の鬪氣を具體化し近く○○町○○旅館に移轉留守師團司令部其跡に殘ゆるの手筈萬端既に一段落の遺算なし留守師團長は目下師團に於て電報を以て問合せ中なるか後備陸軍中將仙波太郎氏に確定するは疑ひなき處なり留守師團參謀長は已報の如く新規轉補の淵井大佐高級副官は福岡二十四聯隊の西原少佐たり○○市中も愈々戰時狀態に入り○町一丁目の某家には野戰軍の步兵第○○旅團司令部偕行社には兵站基地司令部某町には衞生隊本部某々劇場は物品供給所との各貼紙の墨痕極めて鮮也日を追ふて何々隊司令部何々隊何との貼紙增加すべく應召兵は四日より所定の時間迄に一名の落伍者なく○○、○○の各隊に入隊先づ軍醫の身體檢査を受けたる後各中隊に引渡され中隊に於て係員より夫々戰時服裝一般並に武器其他の所要品を交付され斯て瞬時にして武裝凜々しき○○兵士と變り所屬○○長の嚴密なる檢閱を受け次で一場の訓示を與へられ各引率官に引率されて市內に設定せる宿舍に入り徐に命令を待つ事となりたるが之と同時に野戰軍司令官は市內要所々々に衞兵司令部を設け晝夜徹して衞兵を附する事となり既に步哨嚴めしき衞兵を街上に認むるに至りたるは名實共に野戰軍宿營地たるに違はざるなり（某所發電）

◎奉天大連間徒 步聯絡開始
七日より開通

中鐵本線の水害破損箇所は遼陽張臺子間の二箇所にして復舊に十日を要す可きにより奉天大連間の聯絡は徒步連絡によりて七日より開始さるべしと報ぜらる（奉天特電）

◎奉天附近水害 溺死者多數あり

奉天城東部の小河園は數日來の霖雨の爲め渾河氾濫し爲に家屋流出し多數の溺死者を出せり（奉天特電）

▼奉天快晴 奉天方面數日來の降雨五日漸く晴れたり（奉天特電）

◎是れから 赤痢
パラチブスは減つたが今後は赤痢が危險

六月から七月にかけて京城市內に發生したパラチブス患者は却々夥しい數で一時總督府醫院の傳染病室は滿員又滿員で大藥室を[illegible]し順化院の如きは收容の餘地がなくなつた爲め附近の混雜を借受けてゐたが當局の熱心な防疫によつて其後次第に終熄し一方入院患者も追々減少したこの頃は醫院の方も大分空いて來て殆ど入院患者はないと云つても好い位である、此樣では順化院も非常に閑散になつたらうと思はれる然し暑い折柄だからまだ油斷は出來ないの殊にこれからは赤痢の時季だ季と云ふのは可笑しいが兎に角瓜の出初めから赤痢が流行り出すのは事實でこれは御承知の通りパラチブスや腸チブスにくらべると症狀も過激であり危險の程度も多いから一般に一層自重せねばならぬ（森安博士談）

◎火藥又爆發
火藥を積める荷車 電車と衝突して電車粉碎 して即死者十六名を出す
＝東京府下山手線蛇子驛附近の椿事＝

五日午後三時半東京府下山手線蛇子驛附近にて火藥を滿載せる荷車と電車衝突し轟然爆發荷車電車共粉碎され荷車挽、電車乘客等即死者の判明せる者十六名重輕傷者數十名慘狀目も當てられず（五日午後五時發京城電六日延着）

◎機敏過ぎた 浦鹽商人
露貨買占めに 美事に失敗す

數日前浦鹽より元山に入港した平安丸船長の談に依れば浦鹽在留の日本人中には日本出兵の曉は軍隊は露貨を通用さす可く其際には留の昇騰を見るであらうと豫想し盛んに買占をする者もあつた爲め一時は强調を示し卅二錢を唱へたが最近日本軍隊は日貨通用に確定した報が傳はるや忽ち瓦落し本船が浦鹽を解纜する前日の如きは十七八錢になつた之がために思惑をやつた日本人中には多大の損害を招いた者が少くない浦鹽政府では紙幣發行に要する材料及び印刷費等の製造費より市價が幾分でも高ければ其間を儲ける爲にごしごし紙幣を發行するさうである

◎朝鮮米の大好評
五日の賣出しには買手殺到

五日賣り出しの朝鮮米は意外の好成績にて販賣店には午前四時頃より買手押し寄せ且つ上流社會の註文多く一日五、六十俵の大註文を爲し來るものありたり（東京電話）

◎愛國婦人會 活動か
出征軍人家族 その他の打合

愛國婦人會朝鮮本部にては六日午前十時より事務所に於て常務委員會を開催し前田、佐々木、山口、峯尾、岡本、京口、住永、栂倉等の各夫人出席出征軍人の遺留家族の救護等時局の進展に伴ひ本部の執るべき會務上に關し種々打合せをなし正午散會したり

◎李容稙子奇禍
釋王寺に於て 車上より墜落

釋王寺に避暑中の子爵李容稙氏は五日午前十一時半頃旅館より俥を備ひて藥水の湧き出づる某所に赴く途中俥より墜落し後頭部を强打したるため出血多量に及び目下治療中なり

◎米國赤十字朝鮮支部 より救護班を派遣す
セブランス病院のラッドロー博士引率

今回米軍が西伯利亞に進發するこゝなりしにつきては米國赤十字社日本支部に於ては既にトイスラー博士の率ゆる救護班を浦鹽に派遣したるが朝鮮支部に於ても同じく救護班を派遣するに決し同班は七日夕南大門驛發にてハルビンへ向け出發の筈同班は醫員三名看護婦五名より成り、セブランス病院のラッドロー博士之を引率すべしと

救護班を率ゐて行くラッドロー博士

◎平壤と○○令
四日までに約二千餘名

平壤在住の第○○師團所屬豫後備及び補充兵に對し○○令の下りしは三日午後十二時を初めとし四日夕刻までに廿餘名に達し猶不日○○令下らん事を待構へ居れるものさへあり同日午後一時三十九分平壤發列車にて內地に向ひたるもの一名五日午前一時三十三分發列車にて出發せしもの四名同午後一時卅三分發列車にて出發せしもの二名なるが此等送り人は在郷軍人會を初め關係官民を以て驛構內を充し平素になき賑ひを呈せり

◎二娼妓の逃亡
懸賞で搜索す

平壤府町遊廓貸座敷業松廼家方抱娼妓玉蝶こと堤シゲ（十九）及び成駒こと藤野キク（三）の兩名は本年五月初旬頃京城より玉蝶は千七百五十圓にて成駒は千百圓の前借金にて住み込みたる者なるが兩人は何時謀し合したるものにや四日夜十二時頃無斷外出せしまゝ歸樓せざるより初めて逃亡せしものと氣付き早速其筋に訴へ出でたるが多分京城へ驅落せしものらしく情夫の入れ智慧にあらずやとて其筋に於ては目下嚴探中なるが樓主は五十圓の懸賞付にて搜査中なりと

◎一圓に 二升半
釜山の白米小賣相場四十錢

政府が折角骨折つた甲斐もなく米價は益々狂騰して愈々生活難の渦を大きくしようとしてゐる、十日い十石調査が何うした好調な調節法を生み出すかは見物であるが朝鮮は鈴木等の買占の爲めに依然として氣迷ひの狀態である、所で去る四日附の相場を見ると京城仁川は一升が三十四錢それに釜山は三十九錢と云ふ有樣翌五日は一升四十錢と云ふ高値を呼び起した、そして何事に依らず第一の關門たる釜山は米價の高きに於ても朝鮮第一と云ふ事になつた、出兵だとか新穀出廻りだとか云つては居るが何うなる事やら分らぬ、然しマア此處らが頂上だらうと云つて居るが此の上騰貴したら何を食つて仕事を仕樣と目下の釜山は米の話で持ち切つて居る（釜山）

◎值上の火元貸家組合は 矢張り幽靈組合なりき
三好和三郎氏本町署に招致

豫て噂されし京城に於ける家賃值上問題は既報の如く本月初め事實となりて現はれ京城貸家業組合の名に依りて家賃三割值上通告書の印刷物は愈々配付されたるが茲に不思議なるは該組合なるものは現に存在せず又二三の大家主側に訊すも一向に關知せざることより問題益々迷宮に入りつゝありしが其の後其の筋の嚴探により右は旭町一丁目西島某が配付せし事の判明するに至りたれば六日午後本町署にては同人を招致し組合存在の有無其の他に關し取調を爲す可しと

◎三好氏は組合の 存在を否定す
三割值上についても 是れ亦事實を否定す

例の值上通告書の如きは今猶何れより配布せるやを知らず其筋にては苟くも團體名義を僭稱して其の目的を達せんとせるを不都合なりとし種々取調べ中の由なるが一說には三好和三郎氏の所爲なりと傳ふる者あれば本町署は過日三好氏を招致取調べたるに氏は『自分の配布せるものと同樣なるも自分は決して印刷配布せず又所有家屋四百戶中既に值上を承諾せる者百戶位に達せるが右值上率は決して三割等と云ふ不當の值上に非ずして五十錢若くは一圓位の範圍に過ぎず』と辯明し例の印刷通告書を全然否認せりと云ふ

◎鴨江益々增水
江岸一帶危險

通化方面よりの報に據れば同方面鴨綠江の增水十二尺となれりと安東附近にては增水十五尺を算せり尚ほ一日大潮となるより江岸一帶憂慮しつゝあり（安東特電）

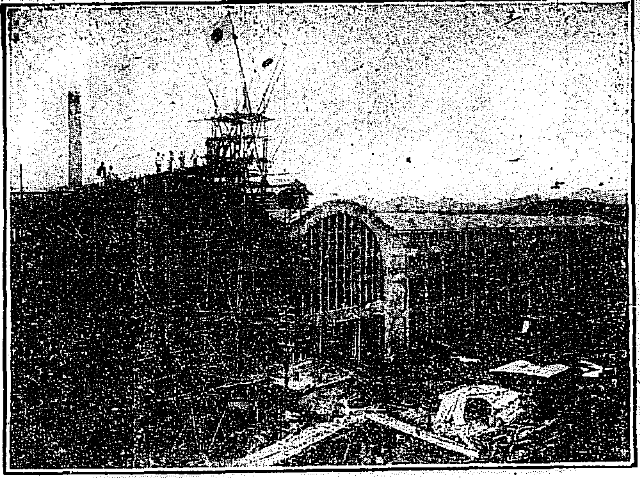
◎老人と電車 京城永樂町一丁目七十九番地金道哲（七十九）は五日午後六時二十分頃京城電氣會社の百二號電車が黃金町二丁目を進行中車前を橫切らんとして頭部其の他に治療二週間を要する負傷をなし應急手當を受けたり

▲目下南大門小學校にて開催中の吃音矯正會に講師として來京の館方正雄氏は單に吃音の矯正に止まらず普通發音の缺陷に關して種々の研究をなしてゐる▲氏の話に依ると上顎の缺陷し鼻聲の者でも明瞭に發音せしむる事が能きるさうだつまり氏の發音法は破損したる箇所の吹き方に依りて樂器の音色を出し得る如く聲帶にさへ故障なくば口の使ひ方の練習に依つて普通の談話に不自由を感じなくなるといふ▲今回の來京は朝鮮教育研究會の依賴に依るもので期間は暇が無いが夜間なれば矯正の希望に應ずるさうだ▲元山の海水浴に行つて來た某氏の話によると海水浴場としては申し分なしだが設備が十分でないのが缺點で▲殊に脫衣場が不充分であるので婦人連などは困つてゐたさうだ▲更に又海水浴場附近に淫草があつたり雜草が茂つてゐたりして不愉快な點が多かつた、この點も改良を要すべきものだらうと

健胃固腸丸
下痢
腹痛
食べ過ぎ、飲み過ぎ、寢冷、水傷、時候の障等より起る下痢病と腹痛に偉大なる効驗あり
○常に用うれば消化を能し腸胃を强健にし恐しき流行病惡疫に罹る憂なし
○暑中の衰弱した腸胃には殊更必要なり
○家庭と旅行には必ず常備せらるべし
藥價 [illegible]
○各地藥店に販賣す
商標及本舖の名義に御注意あれ
○特に服用易き小粒製の小粒健胃固腸丸あり
○兒童用として小兒固腸丸もあり
大阪市東區伏見町二丁目 本舖 谷回春堂
東京市日本橋區堀留町 谷回春堂出張部

仁川期米
晴一時曇

★三菱製鋼工場―兼二浦―



三菱兼二浦製鋼所は目下諸工事中に屬し此の程構内厚板工場は昨年十月來東洋コンプレソル株式會社が其の工事を請負ひ此の程漸く其の外廓のみ竣工したるが何分長さ八十間幅十八間の三町に及ぶ工場なれば全部の完成は本年一杯ならんと云ふ(兼二浦)

驚く可き鮮人漁業の發達

◇物價騰貴の影響に非ず◇ ◇魚は何故高くなつたか◇

魚の騰いのは昨冬以來の現象で一般に打撃を受けてゐる處であるが此の魚價許りは諸物價騰貴に釣上げた高値でなくて市場の供給力が減少したからに依るのが大なる原因であらう偶に澤山獲られる月があつても內地の買占連中が發動機船を活動さして沖買を、直接內地に持つて行くので仁川方面の水揚は

◇著しく減少 する、處が前月などは漸く盛漁期を過ぎて茲一箇月許りは幾分尠ないのであるから買占めは一時中止した樣であるが時季恰かも梅雨期で殊に天候變異多く風雨の襲來劇しかつたので漁業家に取つては厄月であつた之が爲め又水揚げ數量著るしく減じて漁價は益々高い一方に傾いて居る魚の食へぬと溢すのも無理はない然るに水産會社の方では數量は減つたが幸か不幸か魚が高いので其賣上げ價額は減少しない昨年六月の二萬四千圓に比して一千圓減の本年六月は二萬三千圓を計上して居るのは先づ其の數の減少から見れば

◇突飛なる 好成績と云はねばならぬ昨年從業の漁船は幾隻あるかと見ると內鮮併せて百五十隻延べ數に換算すると八百隻はあるから一回一隻の水揚げを平均すると先づ三十圓に相當する一箇月一隻の漁獲高は百六十圓平均に當る勘定だが內地人と鮮人とは尙ほ多少の懸隔があつて一様に見る事は出來ない然しながら最近數年間に於て

鮮人の漁撈法が進歩したことは

實に著るしいもので其の成績は眞に見るべき發展の跡がある此のまゝにして尙ほ兩三年を經過すれば現下の漁撈率は內鮮人其位置を異にする最近當務者の奬勵に基いて各方面に於て之が指導誘掖に勉めて居る結果技術の如きは

◇日に上達 の跡を見せ今でも鯛やニベや其他雜魚の漁獲に於ては到底內地漁船の及ばぬ獨特の技を持つて居る而も彼等には倦まぬ堪忍力があつて孜々として急がず騷がぬ天性を具備し加ふるに其成績は頗る好い唯今以て尙ほ遙かに企て及ばぬのは鰤漁で之許りは鮮人漁撈は尙ほ內地漁船に優越する域に達する迄には相當の日時を要することであるが彼等鮮人漁夫にして今日の努力を惜まずば

◇近き將來 に於て其の全部の沿岸漁撈權は掌中に納むる事が出來る之水産業の發達を期する上に於ても眞に喜ぶべき現象とされて居る本年の如きは內地の好景氣に左右せられ朝鮮沿海に出漁するよりも內地の漁撈に從事する方が有利とする關係もあるので出漁內地船も非常に減少を來して居るのであるが之に反して鮮人漁船は僅に約二百隻の增加を來して居る而して今の處は船價暴騰して去年七百圓を投ずれば一隻の漁船を作る事が出來て居たもの今年は

◇二倍して 二千圓の巨額を要する關係上遽に從業漁船の增加は望まれないが船價舊に復した曉には鮮人の漁撈に從事する者は一時に增加して現在の漁業狀態は一變するであらう

南北支那に五十四箇所のマッチ會社ができた

中には日本品に遜色なき優良なマッチも製出さる

支那に於ける燐寸製造會社數五十四箇所あり其分布を見るに滿州八箇所北支那七箇所中部支那二十七箇所南支那十一箇所あり之を國籍別にするに日本人の經營せるもの滿州に三箇所日支合辦のもの長春及び重慶に各一箇所あるのみ他は悉く支那人經營のものたり而して各工場の製造に係る燐寸の種類に就き之を見るに北支中支南支各地方各特色あり北支及び滿洲に於ては黄燐燐寸南支に於ては安全燐寸中支にては安全燐寸黄燐燐寸兩者併せて製造せり之は支那民族の民度が南方に向ふに從ひ向上せるを示せるものなり黄燐燐寸は其製品價も亦優良なるもの少からず之が爲め近來日本黄燐々寸の輸出前途悲觀されるに至れり黄燐々寸は原料たる燐に比較的上等品を用ふるを以て其品質は本邦品よりも良好にして價格も從つて高し安全々寸は精巧なること未だ本邦品に及ばず價格も低廉なり然れども將來技術上に於て發達するに至らば本邦品の競爭者として侮るべからざるものなり(北京)

慶北共進會

慶北共進會に對する參考品の出品申込は去る七月三十一日を以て締切りたるが其後の申込左の如し

◇京畿道廳 よりは京城旭町朝鮮勸農株式會社より鐵具外三點の出品申込の外計六十七名より農業、林業に關する諸器具、種子、製材、工藝品各種貴金屬細工品、陶磁器、漆器、家具及び竹工品、醸造品、果實、其他楊州郡森林保護記念組合會より組合狀況(冊子)等計九十六點の參考品を出品す

◇全羅南道廳 よりは全南繩叺製造販賣組合外九箇所より改良叺其他合計七十二點の農工海産品等

◇大邱測候所 大邱測候所よりは各種氣象上に關する模型、器具器械、統計表、冊子等計三十一點の出品

◇奈良縣 よりは奈良麻布蚊帳同業組合より組合員十二名よりの出品に係る兩麻白蚊帳外三十三點を參考として出品申込あり

◇廣島縣 よりは縣下沼隈郡よりの出品者伴傳兵衛氏外二名よりの花筵外六點の出品申込あり

◇咸鏡南道 よりは元山府外六郡の特産物數十點の出品申込あり

◇府聯合賣出 大邱協贊會にては共進會々期中大邱商人聯合の大賣出を爲さしむる計畫を樹て六日午

任務の爲に負傷して仁川に收容せられし病水兵

婦人會員の厚き情

もう三箇月前なる陽春四月の末某艦を旗艦とする我某艦隊が威風瀜波を壓して仁川に入港した時の事である艦隊が投錨するが早いか主力某軍艦から一個の擔架が卸されて艦載ランチは之を載せて棧橋へ急いだが上陸すると共に三四の水兵に護られて海岸通を東へと運ばれたのであつた此擔架の主は某艦乘組水兵鈴木三之助と云ふ一兵卒であつたが某地を發した艦隊が

航行中實彈操縱の 演習を爲しつゝ仁川へ航海を續けて居る時操縱機械の故障から過つて砲彈反撥して鈴木の腹部に激しく當つたので鈴木は倒れて腕に强烈な打撲傷を受け內臟機能に障害を起し頗る危篤に陷つたのであつた艦內の治療は思はしくないので艦隊入港と共に之を

仁川に上陸せしめ て仁川病院に治療を託したのであるが何分にも皮下に於ける腕の外皮を破つた事であるから其の治療も容易な事でない病院では有らん限りの手を盡して其の全癒に努めてゐるが少し經過が好いかと思ふと再び激痛を起すと云ふ具合に一向快癒に向はぬのみか此頃では更に病勢衰へず、

哀れ今日迄三箇月 窒しく病院の一室に呻吟を續けて居るのである花々しく戰鬪に參加し敵彈に斃る、盡忠の誠と演習に當つて身を傷けることは事こそ違へ同じく之れ國家に盡す眞心に變りはない病院でも勇士の待遇に聊か粗漏なかれと手を厚くして施はり普通ならば兵卒の身の三等病室にこそ横はるべきに

之も病院の待遇で 今は二等室のベットの上に久しき病み疲れの身を横へて獨り無聊に苦しむでゐる處が此の事あつて以來國の精華と謳はる、赤十字社及び愛國婦人會の兩仁川委員部では此の哀れなる負傷水兵の爲め或ひは見舞を送り或ひは慰問に訪れ

各夫人は朝な夕な 此の一人の水兵の爲めに慰め施はりつゝあるのであるが別けて憐れみ深き同會仁川委員長楠野夫人の如き此の家鄕を遠く離て艦艇を辭して一人思はざる旅の空に病を發ふ憐れな水兵に同情の淚を濺ぎ

雨の朝も風の夕も 必ず一日一度は訪はれ自ら作つた美味しい物でもあらば之を與へ或は滋養の品物を送るなどして慰め勵はる、貞心に水兵は淚と共に感謝して居るとか水兵鈴木の鄕里なる靜岡縣賀茂郡仁科村にあると云ふ兄姉から絶えず

會長楠野夫人宛に 感謝の書面を寄越しつゝあるが過日は父親と弟とが親しく渡鮮して其の病氣を見舞ひ旅行に差支なければ鄕里へ連れ歸りたしとの事であつたが病勢尙ほ衰へず旅行も出來ない始末に餘儀なく病人を殘して後事を吳々も賴むで一先づ歸鄕したとの事である(仁川)

米の不足を補ふ馬鈴薯食用の研究と料理法

割合美味しく食べられる

米は益々高くなる內務省の保健衛生調査會では此の際最も安く買へて最も滋養になる保健食を擇りに研究中である一方東京府農會でも府下の生産物で米の補ひにさせたいと色々苦心の結果我國でも

◆馬鈴薯食 を奬勵しては何うかといふものが有力な說になつてゐる獨逸では開戰以來市街の道路にまで悉く馬鈴薯を植付け非常な多額の收穫を上げ愛蘭人は馬鈴薯を常食として居る我國でも北海道は有名な産地で殊に優れた品が出來るが全國到る處栽培して出來ぬといふ處はない地味に依らず肥料も要せず手數もかゝらずして多くの收穫が得られるのは

◆其の特徴 とされて居る年中貯藏して置いて何時でも甘く食られるが農會が奬勵して府下の農家に作らせて見た處が市民が好んで食なければ何にもならない市民が要求しさへすれば農家はいくらでも作ると共に食方に就いて西洋料理通の某氏は語る『普通の家庭では馬鈴薯と云へばたゞ醬油で煮ころばして

◆偶に副食 物として用ひる位のものであるが歐羅巴では料理には必ず無くてならぬ物になつて居り食ふ分量もパンに劣らない日本人は歐羅巴人を肉食人種だといふが實はパンと馬鈴薯と野菜が食物の大部分で肉は割合に少し、食て居ない馬鈴薯を常食にして居る愛蘭人などの食方は極めて簡單だが然し中々甘く食て居る

◆其料理法 には二種ある、一つは茹で、から皮をむいて適宜の鹽を入れてころころ鍋でころがして居ると好い鹽梅に味がつく、生の中に皮をむいて茹る方は湯から上げて薄く刻み鹽、人參の茹でたもの及び生の玉葱を薬味の樣に細かく刻んだものを混ぜこれにサラダ油と酢と胡椒を入れて掻き廻せば甘い野菜サラダが出來る、も少し手をかけて揚物にすれば洋食の中で最も甘い料理の一つに數へられて居るフライポテトが出來る、これはごんな

◆高い洋食 にもつかはぬ事はない位賞美されて居る要するに薬料理は手輕にすれば鹽だけでも甘く食られるし又手數をかければ何百種といふ變つた珍味が味はれる、薩摩芋は一寸當りがよいが餘り甘過ぎて女子供には喜ばれるけれど常食として澤山食ると胸が燒けてもたれる、馬鈴薯の方は甘味も薄く味はひも淡泊であるから腹にもたれず飽きもしない』馬鈴薯の食用衛生について[illegible]病院長[illegible]氏は語る『何と云つても日本人の食料は米が最も

◆氣候風土 に適した理想的の成分と調和を具へて居りこれ以上のものは容易に得られない馬鈴薯を多く食るといふ事で無病息災は到底望まれないが若し萬止むを得ぬといふ場合是非食ねばならぬ時には其化學的成分により配合に餘程氣をつけぬと面白からぬ結果を來す我國でも現に北陸道の一地方では馬鈴薯を常食にして居た一村があるが遂には丁度馬鈴薯を常食にして居る英國人に俗にイギリス病と云はれてる

◆佝僂病が 流行して居るようにそれと同じ病人が其村に限つて澤山出るこれを以て見ても馬鈴薯は一時生命を繋ぐ事は出來ても完全な主食物にする事は出來ない(東京)

座主を欺きて稅金と貸家料

◇其の他を詐取したる◇

壯俳上りの曲者

東京市日本橋區吳服町生れ當時兼二浦、兼二浦座大勘定方宮下重成(三三)は元中村旭と稱して壯士俳優を勤め居りしが昨年十一月廿七日横濱北區裁判所にて詐欺罪の爲め懲役處分に附せられたるが其後平壤泉町江波由太郞方に月給五十圓にて雇はれ

◇兼二浦座の大勘定◇ を爲し居り兼て江波が目下兼二浦に於て借家建築中なるを幸ひ是が監督をも爲さしめ居たるが本年四月五日より三日間兼二浦座に於て浪花節吾妻屋一行の興行に

◇兼二浦に於ては與◇ ◇行稅を賦課せざる◇ に拘らず松林海事務所へ興行稅を納付すと詐稱し大夫元熊谷某及び座主江波芳太郞より稅金として五圓四十錢を騙取したるを初めとし五月十四日より三日間早川演藝部活動寫眞、五月二十四日より五日間浪華節雲太郞一行興行、六月一日より三日間小松屋一行活動寫眞、六月十二日より四日間佐野演藝部興行芳源活動寫眞、六月十七日より八日間小波會一行壯士芝居、六月二十八日より三日間勢國一行浪花節、七月三日より四日間丹治演藝部興行乃木將軍活動寫眞、七月十二日より十日間村上演藝部興行等の興行等に對し同樣の手段にて興行稅を

◇納むると詐稱して◇ 百五圓七十五錢を詐取し其の他より江波家屋新築監督を命ぜられ居るを奇貨とし兼二浦大工石田直一を使用し全部費用八百六十二圓四十五錢にて請負はしめたるに江波に對しては九百四十七圓十錢にて請負はしめたりと詐稱して該金額を出金せしめ差引八十三圓六十五錢を騙取し尙ほ新築貸家及び兼二浦座に要する襖七十二枚を同所表具師佐竹芳太郞に百八圓九十八錢及び同樣不足品を平壤大和町伊藤表具店より七圓五十錢を買求め合計百十六圓四十八錢を支拂ひたるにも拘らず江波に對しては襖百十枚を二百一圓九十錢にて買入れたりとて佐伯に作製せしめたる

◇僞の領收證を示し◇ 其の差額八十五圓四十二錢を騙取し兼二浦座に要する建具を同地建具商岡本定吉は八百九十三圓四十六錢にて請負はしめたるに江波に對しては九百九十二圓八十六錢にて請負はしめたりとて差額九十九圓四十錢を詐取し其他本年四月より六月迄の間に於ける兼二浦座及び同地江波所有の貸家料等合計一千三百八十一錢を受取り之を着服し江波に引渡しを爲さず費消せし等

◇外に種々なる惡事◇ を爲したるが其他犯罪數多ある見込にして目下取調中なるが右事件に關しては平壤署の寺田刑事が探知し同人を搜査中同人が兼二浦より平壤に來る際平壤驛にて取押へられたるものなり(平壤)

露國義勇艦乘組水夫の暴行

若松港より石炭を輸送して兼二浦に入港せる露國義勇艦隊マグネット號乘組水夫ピーヨトル、ムサアキレ同ピーヨトルム アサボンの兩名は八月三日午前十時本船より上陸し日本料理店に上り散々に飮んだ末藝妓酌婦を揚げんとしたるも應ずる女なきに腹を立て午後十時頃遊廓所方々を呑み廻りたる末玉川樓に上がらんとしたるが同樓にては之を謝絶せしに益々立腹し同家の硝子窓を破壞したる上今度は於多福料理店に押し掛けたる處へ急報に接せる駐在所の高等部久木田巡査等が取押へ一晩留め置きの上翌朝醒めて玉川樓の窓硝子代二圓を辨償させ漸く示談となり本艦に歸らんとせるが其時既にマグネット號は荷役全部を了へ鎭南浦へ出航したる跡なるにぞ兩名とも悄々陸を鎭南浦へ向へり(兼二浦)

人夫の轉職者一千人に及ぶ

鮮人支那人とも

兼二浦に於ける鮮支人の一日一人の勞働賃金は最低四十五錢より最高五十五錢位迄なるが何分他地方と異なり兼二浦は生活費等他地方に比し約三割高のため人夫一人の所得は漸く彼等の糊口を凌ぎたるのみなれば何れも他地方に轉ずる者多く各請負業者は何れも人夫の補入れに苦心しつゝありて近々二十日間位に約一千人の人夫は銀山及び二道溝等の鐵山及び其の他に轉職せり(兼二浦)

殘忍な詐欺

病人から捲上ぐ

旅客の馴れぬ處を附け込んで棧橋附近には色々な犯罪が行はれる、之れは下關の出來事で一度や二度の事でないから一寸當局のお役人に注意して置く、先頃の朝の事であつた三十歲餘りの病身らしい男が腳氣症であるかで連絡船に乘らうとすると乘船の入口の人目の尠い處で二十二三歲のハイカラ男が現はれて『君の樣な者は迚も連絡船に乘せて吳れぬ併し君が五圓出したら自分が事務長に賴んで證明書を書いて貰つてやる、そうしたら大威張りで乘る事が出來る』と云ふので病人は早速五圓出して賴んだところが待てど暮せど其男は來らず可哀想に病人は連絡船が棧橋を離れても其男は來らず淚乍らに派出所へ訴へ出でたとは氣の毒な次第である(釜山)

農信

◇慶北の陸棉作柄

七月廿三日大邱當日の調査に據る慶北第二回陸地棉の作柄は六月廿二日(夏至)以來天候概して不順にして六月下旬頃やゝ氣溫の上昇したるも四月廿日前後は雨あり引續き多雨多濕の天候日日間に亘り日照少く氣溫稍や低下し爲めに生育順調を缺き加ふるに害蟲の發生不尠現に義城郡に於ては其區域一千町步に達したり七月下旬天候回復するや一般生育旺盛となり草丈伸長し七月廿日浦[illegible]たる寒雨に會ひ害蟲殆んご一掃せらるゝに到れり而して本期生育反別は二千五百廿六町步にして之を前期に比すれば百七十五町步を減じたるも作況は七割一分七毛を示し前期に比し一分四厘二毛の增加し其の反當平均收量七十九斤宛棉收穫豫想高九百九十七萬千九斤にして前期豫想に比し十五萬六千斤の減少に過ぎざる好況を呈せり(大邱)

群山海水浴

群山港の近海開也島に海水浴場として萬端の設備を施し八月一日より浴場開きの運びとなれるは既報の如くなるが海水浴場行浴客の爲めに群山開也島間を毎日曜日と奇數日毎に運航すること、なれる群山艦航社發動機船盛航丸の群山發時刻は午前八時にして歸著時間は午後五時卅分とし午後六時廿分群山發列車に接續せしむる由(群山)

◎取消 左の事ありたれば掲ぐ

大正七年七月三日京城日報第三八七二號(二日夕刊)仁川版三面欄に『事實とすれば刑事が惡し』と題して掲載せられたる記事中當洪城警察務刑事巡査に關する件は該當事實無之候條御取消相成度此段及照會候也洪城警察署長(七月二十三日)

◎連絡船上陸客 五日午前釜山入港新羅丸上陸一二等客一等(三名)安住時太郞、岡與夫、有賀光[illegible]

◇稍經到著 京城南山町の地方金融組合會より出品の答なる組合の模型は近く到著す可しと(大邱)

前十時より大邱居住の主なる小賣商人を府廳に集めて協議したり

演藝案内

●有樂館 東京小林商會特約 米國ユニヴァサル會社特約 早川演藝部直營活動寫眞常設館 電話(二三〇五番) 當る八月二日より公開午後七時より ◎寫眞スクリーンマガヂン三十四號 ◎喜劇 智略の勝利 全二卷 米國ユニヴァサル社レッドフエザー特作 ▲社會劇『靈前の月』全五卷 ドンはミス、レデーと許婚であつたが偶人の罪を犯した友人が自分の爲めに其地を立去つて居たので友人が事情を一知らずに疑を招きミス、レデーは父の不徳な鳴らされ失戀の胸を抱いてドンの爲めに泣いた ▲西部連續活劇『生ける屍』(第五篇)武場の[illegible]おなじみの英雄[illegible]米國ユ社近來の快心作大冒險劇 ▲第七回『ダイヤの一』十三篇(新らしき敵)十四篇(逃走者)上場 偶然局面一變して海上の爭は陸上の一大追擊と進む

●浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 毎夜午後七時より開演 ▲京阪落語研究會一行 お馴染の落語樂會一座へ更に若手數名増補致し嚴々大阪の程を御披露仕候御機嫌伺ひ可申候 ▲落語(物まね)遊玉 ▲落語(手踊)圓一 ▲落語(音曲)笑三 ▲落語(手踊)遊作 ▲落語(音曲)花輔 ▲落語(手踊)木鶴 ▲落語(音曲)花丸 ▲人情(落語)圓洲 ▲大切(喜劇)總出 ▲更に浪花節大家桃中軒加賀田前仕候 ◎入場料は特に從前通り大勉强 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

●大正館 櫻井町 電話八七三 當る八月三日より新寫眞提供 ◎實寫 西班牙旅行 ◎米國キーストン會社作品 ◎滑稽『怖い影』最長尺 ◎米國ヴァイタグラフ會社製 ◎大活劇『赤自動車冒險の卷』五千呎 ◎維新の風雲急なる時代 △尾上松之助一派の舊劇『大村益次郞』全四卷 ◎大村益次郎は賤の小玉(?)家に生れ(?)て[illegible]所々に轉職して佐伯の主領佐伯大學を討ち[illegible]巧名な樹立(?)て英雄豪傑の如く集る大高原 ◎新派大悲劇『あかつき』全五卷 [illegible]

●黄金館 電話二二六二七 二二六六 當る八月三日より大傑作と大傑興 ▲料金普通 ▲喜劇『熊と菓子』 大活劇ビンブルミレース 天活會社新派東派新派大特別大撮影 [illegible]

●壽座 京城本町三丁目 電話五七八番 八月六日替り狂言 前狂言 管原傳授手習鑑 中狂言 兩面 切狂言 布引三番瀧物語 ... 二場 ... 三場 武部源蔵、小浪(尾上小梅)、松王丸、小太(尾上小南)、源之助、安房千代、市川猿十郞、八重、市川新昇、外五十名 後に無き大寫眞と大傑作を取揃へ正午三十分より開演

文官劍 軍刀 指揮刀 日本刀研 白鞘製造 及附屬品販賣 京城本町三丁目九一(壽座先キ) 諸官衙御用 吉岡利平 電話五八二番

質 京城明治町二元階町 大塚質店 電話一八四九 戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全なる倉庫あり多額の融通も出來得るり便宜を圖る

ハテ胃がワルイと思ふ時は、「模範的健胃劑の」胃活を即時に買求め根本的「御治しあれ」善は急げ

(胃活錠)五圓、貳圓、壹圓 (胃 活)參圓、壹圓、五拾錢、貳拾錢、參拾錢、拾五錢

東京日本橋區本銀町三丁目 山田安民藥房 大阪東區南久寶寺町二丁目 山田安民藥房 ●全國藥店にあり

コノ銀貨ト健胃強壯

胃が病い」「胸が痛む」と言ながら」僅の銀貨を惜んで」藥を飮まない恐は」勿論でありますが」ソノ僅の銀貨で藥の善惡の撰擇を誤つた時には」取返しの附かぬ事になる

夏の胃

暑い氣候は」自然と人の胃を弱らしい」筋肉が弛んで兎角食物が進まず」身體が倦怠になる」平素より胃の弱い者は尙更である」夏に水アタリ」食アタリ」コレラ」赤痢」暑氣アタリ」腸チブス等胃腸に關する病の多いのは其の適例である」故に

商況

東京期米特電

兵庫期米特電

大阪株式特電

大阪期米特電

大阪三品特電

下關期米特電

雜報

●綿糸布上支へ

錢 十二圓七十五

二三百三十 五圓見當の維持

晒金巾

●正米品ガスレ

内外の契約成立 約五千叺

追々熱狂的氣分を含む

更に二三十錢の高

續昂尚幾多の昂騰

●白米又昂騰

又々五十錢方 引締は二三十五圓に上り

●鮮白は割安

内外引 僅かに三十錢

弗々玄米の賣放

反動甚しからん 本品割安

●支那粟引締る

錢方引締 約二二三十

●絹貿物綿滑

●洋釘行支へ

安物殘りマバラの割

現狀の儘推移 本月一杯

●燐寸高人氣

荷捌底 黄燐燐寸は在 全燐寸は二二三圓 方跳上

●白豚毛昂騰

下關相場

各地商況

釜山市場

南大門市場

仁川正米

仁川期米

生魚市場

六日前場 大上放れ跡下押し 中限 八圓丁度

暴騰 六圓四十錢と昨止より四十二錢高 寄付き

正米一圓二十

六圓〇五錢 内行は引跡高氣配

東京 錢高

●期米又昂騰

遂に二十八圓 新高直出現 先限は一躍二十六圓四十錢 大上放れに寄付 反落 六圓〇九錢 是れが因

市場綜觀

利食の續出と新規買に在る頑重さ

仁川取引所 六日の十月限

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店

田中金兵衛商店

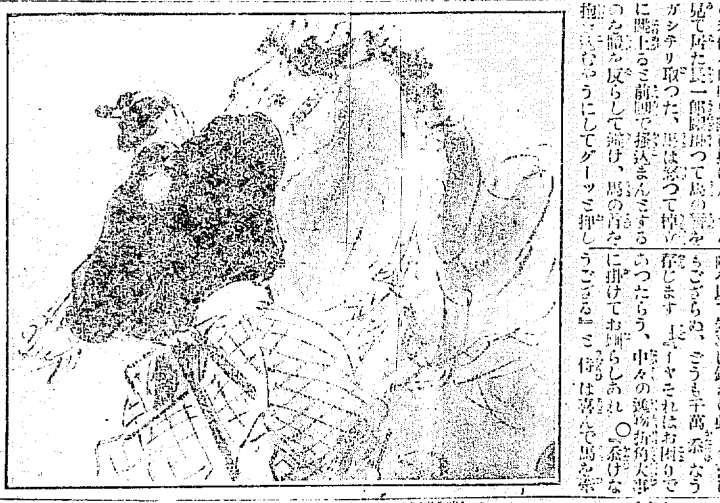
仁川米豆取引所仲買人 ウ 仲買店

叺繩莚 穀物鑛石用 叺及荷造用莚各種 大田本町三丁目 箕浦商店 長電話五二番

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金喜田仲買店 仁川海岸町三丁目

塚原卜傳 第百五十八席 悟道軒圓玉口演

保竹長一郎は姿を變へて京の街へ入り、小太郎の悶を覗つて居るが、何分嚴重な警固でありますから、飛込んで討つべき機會もなく、空しく五六日經ちました、今日しも四條の河原を通りかゝると、向ふから飛んで來た一頭の荒れ馬、頭しも春の中ばの事とて花見の群集が雜沓する中を、右往左往に蹴立て、走つて來る、往來の男女は只アレヨアレヨと騷ぐ中に、一疋の駿に跨つた一人の老侍が曉晴の中に押し戻さうとして居た長一郎が、馬の轡を取つた、馬は怒つて棹立ちになる、長一郎は之を前脚で掻込まんとする、馬の首を戻して跳ね上るのを曳いて、グーッと押しつけやうにしてグーッと押しつけてうござる



て往く、馬は押されてパツパツと後蹴で下つて土俵の際へ來てヒタリと止まつた、馬ほど物の解る動物はない、人を見ると馬ほど向る時は暴れて仕方がない、つもりでヒョイと見ると對手が弱い、馬術の心得の者だから之は俺が負けつた下手に暴れると醜い目に逢ふ、之れはまア温順しくした方が宜いと考へたから、首を下る、頭を下て地息を喫くと肩が鎭まつて暴れたくも暴れられなくなります、これが馬の了解……譯

いて居る、長一郎は繼ぎに長年ます老『イヤどうも貴公の働きには驚き入りました、私は何でございます、拙者も殘念ながら一國の馬術まで歩んで參りまする、南部の三才駒、今日は何う申す事で日々に、馬を抱へてヒタと押して參つた呼吸は若い方に剛合はん心得の技量

八條流と申した
利き、八條流を聊か學びましてございます 老『左樣でござらう、恐るまいな 長『恐れ入りました

藥湯新王 浴用人參湯 京城府南大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社

何でござらう、お爺の申さうやうもござらん、長『これは御馳走の御禮でござる、老『イヤ此馬は今度大和國より献上の寶物、俺に所が騒いで手に了へぬ馬でござるが信長公へお預けに相成

ざらぬて、アハ、、 長『御老所にはお何處へ御出になりまするか 何ならばお送り申上ませう 老『それは忝けない、イヤ私も此公にはチと尋ねたい事もある道を供はね

人參王 京城本町壹丁目 電話一四八〇番 一八七〇番 ツ 津村兄弟商會

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所長 加古貞太郎先生序文
辯護士 法學士 小笠原寛先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓

面事務所の所在地を示し一目瞭然にして末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戸數、道路里數、各道の廣袤交通、産物名稱舊跡溫泉其他の概況を掲げ

本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通、産業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也

パイン萬年筆

發賣元 京城日報代理部

林病新藥 ツヨール

製造元東京日本橋ツヨール商會

清く美くしい薄化粧に レート水白粉

上品に氣持よく

▲お肌の地からサラリとさせて清く涼しく
▲自然にホンノリと上品な白さに浮き出る

◇涼しく美くしい淡化粧を殊に美くしくするのにはレートデエリーを下地に引いてレート水白粉をお附けになるに限ります

本舗 東京 平尾贊平商店

花柳病 外科專門 京城南大門通 司生堂醫院

株式會社漢城銀行 第貳拾六期營業報告 貸借對照表

取締役 李允用
専務取締役 韓相龍
取締役 趙鎭泰
監査役 趙重應
監査役 金用集

京城日報

本紙定價　一ヶ月七拾五錢　廣告料　發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話長六〇〇・三〇〇番　振替京城三〇〇番　編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介

……三十圓にて……海……若松上海……下六艘に成約成りたり向石川島造船……市場は議に歐米手紙共……確後西部戰局に於ける聯合國の勝……不良なりと云ふにあらされど何れ小康を呈すべく殊に內外市場共……十五圓九十五錢……二十八錢安に寄付……二十六圓の兩門爭奪戰となり……

仁川米豆取引

東京より　帝國の出兵宣言

八月二日午後八時　東京支局にて　白蘇鐵

▼政府の出兵宣言は、果然、本日午後六時を以て發表されたり。永田町官邸に於て兒玉翰長は竹尾秘書官と共に宣言の印刷せられたる百數十部を手にして記者團に面接し意氣頗る鎭靜たるを見る。記者團は本文を草し終る頃は、京城に於て號外の鈴の音喧しきものあるべし▼今次の出兵宣言に就ては、そこに興味ある二個の重點を發見するを得可きが如し。一は、『帝國政府は合衆國政府の提議に應じて其の友好に酬い且つ今次の派兵に於て聯合列強に對し歩武を齊うして信の實を擧ぐるため』とあるものにして、『二は軍旅を整備し先づ之を浦鹽に派遣せんとす』とあるもの之れ也。▼抑も、今次の出兵は七月七日米國がチエツク援助の主旨を以て我國に浦鹽派兵を提議し來り爾後我政府の態度決定せる應援、二十七日米國の回答書翰の米國と共に、我政府の態度決定せるもの其の最近の經緯なりと雖も我政府が從來聯合與國の爲めに露國に出兵を慫慂せられたるは寧ろ古き……ありせるもの最も遠きに屬し……英佛兩國政府の出兵勸誘あり、更に重ねて四月下旬、英佛伊三國より出兵勸誘あり、次で五月に入りて米國政府より西伯利出兵に就いて我國の考量するところを質問し來り、後初めて今回のチエツク援助の提議となれるものにして、我國としては一面最近に表明せられたる米國の意嚮を尊重すると同時に從來屢々我が出兵を慫慂し來りたる聯合與國の情誼に敬意を表する機會に處し微妙の苦心を拂ひたるの跡は今指摘したる前段に於て特に玩味す可き妙趣を含蓄せずんばあらず。▼後段に於ては『先づ』の二語、一斷千鈞の重きを見る、初め米國の我國に提議し來れる出兵地點は浦鹽と指摘したるが如しと雖も帝國政府はその獨自の所見に立ち、獨自の立場よりする行動の自由を保有するに於て充分の考慮を費しその決心を表明するに於て適當の措置を取りたりといふを妨げず、又以て所謂米國回答の趣旨と帝國政府決心のあるところを察知し得可く、かくて相理解せる兩國の派兵が極東の政局を展開せしむるに於て良好の結果を齎す可きや疑はず。

獨逸露艦利用策無効

此程露國に於ける獨軍東進して黑海に達したるより獨逸が黑海艦隊を利用して地中海を脅かすに至る可しとの說一時盛んなりしが倫敦『デーリー・クロニクル』紙は本問題の憂慮するに足らざる所以を論じて左の如く云へり

▲黑海艦隊の運命　黑海の露國艦隊の運命は今尚ほ未だ判然せず。其存する所……既に獨逸の左右する所となるに至れりと想像するものあるも未だ確實ならず、或は獨逸が務めて露國過激派のレーニン獨逸側の大臣キユールマンが一般的講和の實現せらるゝまで露艦を使用することなしとの約束を與へたるよりたりとの說あるも露軍のセバストポール……前に於て露國新式弩級艦二隻即ちスウオボドナヤ・ロシヤ及びウオルヤ乘組の將校及び乘員は逸早く驅逐艦二隻及び汽船二隻と共に兩弩級艦をノウオロシスク港に回送せしめたり獨紙ケールニツシユ・ツアイツングの所報に據れば右兩艦の將校は獨軍の更に同港に來るに先だち兩艦を爆破するの決心なりしとあり、始め黑海には今一隻の弩級艦即ちインペラツリツアありしも之は千九百十五年十月火災と爆發とに依て破壞に歸したるを以て殘るはユースタフイ級の戰艦二隻老朽戰鬪艦二隻及び少數の巡洋艦あるのみとす

▲獨逸の露艦利用　思ふに獨逸側が黑海に有力なる戰鬪力を獲得するの惧あるは否定し能はざるも果して敵が此目的を達し得るや否やは不確實なりと云はざる可からず然も若し獨逸側にして黑海に於ける該艦を手中に收むるに於ては之を十分に修復の上彈藥を補給し獨逸の將士（恐らくは土耳其側をも一部參加せしめん）を之に配するや必せり獨逸が其利用し得可き艦艇を以てサロニカに於ける聯合軍艦船に對して奇襲を試むるに努むるは疑ひなく其弩級艦を出動せしむるの時も是れあらん或は獨逸は是等戰艦をしてポーラに於ける墺太利艦隊に合せしめんとす可しと唱ふるものあるもアドリアチツク海の形勢は伊太利海軍は最近墺太利の弩級艦ゼント、イストフアンを擊沈し他の一弩級艦にも大損害を與へたることゝて今日にありて墺太利は四隻のエルツエルツオツグス級戰鬪艦及び若干隻の比較的舊式艦を有するも海上出動に適せる弩級艦は一隻以上存するや否やも疑はしき程なるのみならずアドリアチツク海の航海は敵に取り不安極まるものなるを以て獨逸が露艦を率ゐて此方面まで西進し來らんとは何としても想到する能はず

▲地中海の聯合艦隊　聯合軍艦隊は多數の艦艇を擁して地中海に儼存するあれば獨軍の黑海到達は不快の事實には相違なきも地中海の形勢を攪亂するが如きは思ひも寄らざる所にして況んや之を危殆ならしむるが如きに於てをや地中海に於ける聯合軍艦隊は如何なる新事態にも處し得るの實力あり然も北海方面に於ける英艦隊の勢力に不足を來さしむることなくして此方面に增援するとを爲し得可し故に敵にしてダーダネルスを出でんと企つるも聯合軍艦隊は能く之を阻止し得るのみならず敵若し地中海を志してイージアン海に脫出し得ることも斷じて之を逸することなく必ず之を擊破するの用意に間然する所なし

黑龍過軍前途

黑龍江

△交通路の杜絶

交通杜絶と密輸入

黑龍江州一帶の過激派軍及び獨墺俘虜軍は今や東はチエツク軍の沿海州方面よりする北進の爲めに海岸及北滿方面よりする物資流入を阻止せられ西は中部チエツク軍の爲めに貝加爾湖附近に於て西部西伯利よりする糧食補充を遮斷せられ東西兩面共に主要交通路を絶對に遮斷せられたる結果大規模の供給は全然不可能となれり從つて黑龍江州一帶の過激派及び獨墺軍の前途は假令東部チエツク軍が北進を中止し此の方面の守備をカルイムコフ軍に一任したりとするも物資缺乏の爲めに其勢力を長く保持し難きは明瞭なり唯目下はセミヨノフ支隊の戰況頗る不振なる爲め北滿より滿洲里を經由して黑龍江州に移入せられつゝある糧食は不充分ながらも多少彼れ等の急を救ひつゝある模樣なり然れ共セ軍北勢力を恢復するかチエ軍鐵道に依り滿洲里方面より攻擊するか或は問題の出兵案にして實行の運命に際會せば當然滿洲里附近一帶の國境は嚴重に守備せらるべく黑龍江州過激派及獨墺軍の此方面よりする糧食補充は全然不可能たるに至るべし

△露支秘密通商

由來黑龍江州及び沿海州一帶と北滿との通商は平時に於ては（一）ポグラニチナヤ方面（二）琿春ブラゴウエチエンスク方面（三）三姓方面の三箇所に於て國境の稅關管理の下に行はれつゝありしが現在に於てはポグラニチナヤはチエツク軍の爲にブラゴエチエンスク方面は支那政府と聯合國との交涉の爲めに阻止され獨り三姓方面のみ餘喘を保ちつゝあり然れども是れ表面上の事柄にして小規模の密輸入は稅關に關係なく支那商人の手により盛んに行はれつゝあり其重なるものは（一）松花江を下航して黑龍江本流に出でラハスノ附近よりミハイロセメノフスカヤを初め黑龍江沿岸の各都市（二）ワマラ河（黑龍江支流）を下航して黑龍江本流に出で其附近沿岸各都市（三）バンガ河（黑龍江支流）より下航して黑龍江本流に出て其附近沿岸部落よりルフロフ方面に對する三途なるが是れ支那政府の監督權の及ばざる地方を利用し狡猾なる支那商人が窃に行ひつゝあるものなれば其の取締頗る困難にして同方面の秘密取引に對しては現在之を絶對に禁止する良策なきも黑龍州一帶の過激派軍及び獨墺俘虜軍に對し武力を用ひずして根本的掃蕩を期待せば是非とも密輸入を嚴禁するを要すべし

燈臺雜話

矢野監理課長談

▲燈臺は航海業者の杖或は提燈　燈臺は島嶼多き海上若くは陸岸附近にして若し燈臺其他の航路標識なくんば夜間の航海は全く不可能なるか若くは頗る至難のものなり燈臺は實に航海者の杖ともなり提燈ともなるものにして或る燈臺は航海者が針路變更の目標となり又或る燈臺は濃霧若くは降雪の際霧笛（或は霧砲）に依り航海者に對して船舶の位置を知らしめ以て航路の安全を計る等海上交通上實に缺くべからざるものとす

▲燈臺と海難救護　燈臺員は航海者の安全を計るの外海難者を救護することも少からず過般全南上島島附近にて沈沒したる永和丸乘組員十名は下島燈臺員の爲めに救護せられたる者其他汽船又は漁船等の難破したる場合に於て燈臺員の救助したるもの頗る多く實に燈臺員は難破船乘員の命の親となるものとす本年五月西島燈臺に避難したる宗信丸乘客の某氏の如きは燈臺員の厚意に酬いんが爲にや金若干を朝鮮遞信協會に寄贈したることあり

▲燈臺員は船を御客さんと呼ぶ　燈臺員は晝夜の區別なく海上を看視するものなるが看視勤務中一隻の船舶さへ見えざることは今回は御客さんが見えざりしとて稍失望の聲を發すと云ふ

▲燈臺看守員の娛樂　燈臺員の娛樂たるや釣魚、園藝、讀書等を主なるものとす燈臺員を慰藉せんが爲め遞信局內の有志者は雜誌及び書籍類を寄贈し彼等の讀書に便ならしめつゝあり燈臺員は利用し得る限りの土地に蔬菜其の他の植物の栽培をなし實用の外に一種の娛樂となしつゝあり其他釣魚の如きも亦娛樂と實用とを兼ぬるもの也

▲貯金も亦娛樂の一也　燈臺所在地の多くは社交の費用を要すること少なく比較的冗費を要すること少きを以て貯金をなすもの、爲めには利便多し即ち消費さか擇ぶことなきも貯金の愉快は少からざるものす

▲各國の燈臺と海岸線の割合　燈臺は海岸線の割合は獨逸は二浬二毎に一基の燈標あり獨逸は二浬五六毎に佛國は三浬五五毎に北米合衆國は三浬七〇毎に英吉利は五浬五四毎に內地は五十七浬毎に燈標は三十三浬八に一基の燈標を有する割合なるも我朝鮮にては九十四浬毎に一の燈標あるに過ぎず以て朝鮮の航路標識の不充分なるを知るべし

並行線

瀧閑村

（四十九）

『有難う、ホンの少し頂戴』

斷るかと思つたおのぶは、意外にもコツプを受けて、半分程注いでやつたのを飲み終つた。

『驚いた、素的なお手際だ』

おのぶは稍恥らひ氣味に、

『女はお酒なんか飲んぢや可けないのね、家に居た時父が飲んだものですから……』

『少し位はいゝサ』

宮太郎は慰めるやうに云つて、更に一杯飲むと、折から點いた電燈は、眞赤になつた宮太郎の顏を映し出した。

おのぶは風を遮つてゐた團扇の手を止めた。

『まア、あんなに赤くなつて』

『イヤすつかり醉つちまつた、閉口だ』と頬を撫で、

『さア飯だ飯だ』と茶碗を出す。

おのぶは瓶を灯に透して

『まだ殘つてゐますよ、貴郎』

『モウ澤山だ、此上醉つちや堪らん』

二人はいろいろ語らひ乍ら、樂しくそして靜に夕餉も終つた。卓子を臺所へ下げて、二人はまた向ひ合つた、

『今夜は本當に涼しいのね、斯ういふ晩ばッかりだと助かるんだけど……』

『百姓代り百姓が困つてしまふ』

『それもさうね』

おのぶは嫁いで來てから始めて夫婦らしい思ひがした、新婚らしい樂しさに逢つた、我家らしい寛いだ氣分になつた。

『どうだ散步に行かうか』

おのぶは指輪を弄び乍ら

『結構ね』と云つたが少し改まつて、

『細律の方の御樣子はどうでしたの、旨く參りさうですか』と訊く、

『都合よく伊藤に逢つてね、十分に話はして置いた、大體に於ては贊成してくれたが、まだ不十分な所があるから、モウ少し詳しく伊藤の手で調査して見ぬと、判然した事は判らない』

『でも大體御贊成ならまア結構ですわ』

『さうさ、第一回の骨折としては、あの位の所だらう、旨く行つて貰ひたいものだ』

『さうですとも』と釣込まれて聲を落したが、また顏を擡げて、

『乾度旨く行きますよ、心配しなくッても大丈夫ですよ』

斯うなはれると、宮太郎も何處かに頼み多いやうな氣もする。で勢ひよく立上つて、

『オイ、氷でも飲んで來よう』

『アラ』とおのぶは吃驚したやうに、

『一寸待つて下さいな、勝手の始末もして置かなけりやならないし家も締めて行かなけりやならないぢやありませんか』

『さうか』

二人は相見て一笑した。

詠竹　素堂　梨岡　南嵓

凌霄數竿竹。蔥去和環翠。高節儔君子。虛心待鳳凰。明月今高節淨。滿籟清風。不改四時容。

喜雪　德山　山田　眞

白頭六十五回春。初識人間歲歲新。昨是今非何足怪。不疑長壽在精神。

喜堂曰、長壽在精神尤得要訣、

南岳藤澤先生入峽次韻　蘆堂　有泉　米松

遠天斜照暉。高樓此夕共徵醒。搖蓮含雲屋頭還。雛鶯綏霜喚蘭蕉。石上余歸千岫雨。樹梢滿曳一遙雲。峽中風景秋如畫。好待先生錦繡文。

喜堂曰、余侍南岳翁遊甲州見金漢、諸勝、此詩言之也、

劍峽　關雪　橋本　關雪

劍氣凌空詩氣豪。少年命騁氣生毛。平生慣歷世波險。笑踏崔嵬六月濤。

喜堂曰、豪宕不群余頗愛此種集漢。剪紅裁白苦者、余所不取也。

芳山懷古　老梧　谷山初七郎

千樹櫻花萬古愁。南朝古刹在何處。滿山春盡翠微雨。松柏依然護帝陵。

喜堂曰、松柏後凋、可以比南朝忠臣、況復雨中落花、感慨系之。

蘇堤觀花　舊田　大井　玄洞

鶯ル滿地正清明。何事天公惜晚晴。雨洗高花嬌有態。風搖千朶恐無情。雙雙燕雁香泥去。欵欵蝶穿珠蕊行。一傘任從衣袂濕。安排詩酒趁佳盟。

喜堂曰、雨中觀花、殊不惡也、況有詩酒盟約乎。

商業登記公告

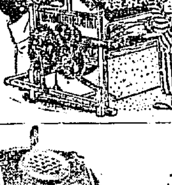
京城電氣株式會社取締役……右大正七年七月二十九日辭任……登記

……株式會社……取締役……右大正七年八月……日登記

京城地方法院

廣告　貸附　特約店を懇募す　朝鮮總督府

一人五反安樂稻扱



圖入營業案內送呈　製繩機も在附　大阪大正橋西詰　常廣商社

韓一銀行　第二十四期決算公告（大正七年上半期）

資產之部	
未拂込資本金	二五〇、〇〇〇・〇〇
諸貸出金	一、七四三、二五九・七一
他店へ貸	一二、四七一・〇八
有價證券	七、九六五・〇〇
營業用地所建物	六四、四九七・〇〇
營業用什器	三二〇・〇〇
擔當流込物件 一件	一六、〇五〇・〇〇
假拂金	三、五三四・〇七
預ケ金及現金	一九三、一三〇・五三
合計	二、三九一、二二七・三九

負債之部	
資本金	五〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	二〇三、〇〇〇・〇〇
未支拂配當金	四二一・二〇
諸預金	一七九、一七三・四四
借入金	三七〇、〇〇〇・〇〇
他店ヨリ借	一一、四二〇・五四
本支店間未達勘定	三、八〇七・七〇
當期利益金	二七、四〇四・五一
合計	二、三九一、二二七・三九

利益金勘定	
當期純益金	一九、八一〇・六三
前期繰越金	七、五九三・八八
合計	二七、四〇四・五一

此配當ハ左ノ如シ

積立金	七、〇〇〇・〇〇
配當金（年六分）	七、五〇〇・〇〇
役員賞與金	一、七〇〇・〇〇
後期繰越金	一一、二〇四・五一

右之通ニ候也
大正七年七月
株式會社 韓一銀行
頭取 閔泳徽　取締役 閔丙奭?　取締役 金漢奎　取締役 李容稙　取締役 其正
監查役 沈相璜　監查役 李容植
前記ノ各項取調候處相違ナキヲ保證候也
取締役四名監查役二名任期滿了ニ付改選セシ處取締役ハ全部重任、監查役ハ二名當選就任セリ

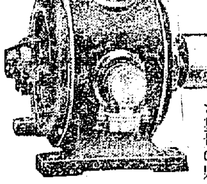
京城本町　大阪屋號　電話……　振替京城……

最新刊

書名	著者名	定價
日本鑛石學	若林重三	四・二〇
江戸懷古	鈴木常城	一・五〇
建國史話	渡邊…	一・二五
宗教統一論	…	一・八〇
書翰鑑定秘錄	散人	一・一〇
圖書總目錄	東京市內特價五圓五十錢	
ゲーリー式の學校	田中弘吉	一・二〇
大統領ウイルソン	田中達	一・〇〇
大聖釋尊物語	戸部…	一・〇〇
山水小說	…	一・〇〇
義時の最期	坪內逍遙	一・三〇
朝鮮大地圖（總督府編　折疊式）		五十錢
要草	鉄花	一・八〇
寶庫西伯利	…	一・二〇
入	…	一・六〇
鼻	芥川龍之介	・五〇
韓文規範及文例	坪內孝	八五

寫眞　京日寫眞製版部　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版　精細せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし御高需に應じ候

金持　確實になる近道は外にない、僅少の資本で安全確實に儲かる株式投資法說明書申込次第送る　東京市芝區愛宕町二ノ一四　電話芝三九九六番　振替東京四二〇五〇番　內外諸公債株式債券現物問屋　葵屋商店



川北製モートル　各馬力在庫　各電氣會社に納入し常に絶大の好成績と聲價の夥多なること實に冠たり　株式會社川北電氣企業社（大阪本社資本金參百萬圓）　小倉出張所　九州小倉市鳥町電話六八

◎眼科專門　藤原醫院　□入院隨意□　京城府明治町二丁目五十六番地　電話貳貳六七番

太陽

ウクライナ國と獨逸……松岡法學博士
時局の印象……淺田江村
グレーの國際同盟論……浮田法學博士
東露の危機と帝國の態度……森御陰
ミリタリズムの危險……內田魯庵
世界の變局と吾實業界……堀內明三郎
自治の本義……織田法學博士
民族的國家の復活か……阿部慶大教授
夏旅印象　ト寺建吉、帆足、田谷森田、久保田諸氏の記事
橋本邦助　小川千甕
救濟根本義……堀江法學博士
癌腫と飲食物　山極醫學博士
マルクス派の歷史的意義……
印度の印象……荒井寬方
我民族發展地たる南洋……鶴見祐輔
黃海流と動物分布……飯塚理學博士
教育時言……兆水
粘土自像……晶子
小說　廢兵院……須藤鐘一
八月號　定價卅八錢　郵稅參錢　博文館

鑛物分析　松永分析所　京城太平通二ノ三二六　電話長一八二三番

外科　內科　皮膚科　小兒科　花柳病　島崎病院　入院隨意　診察夜九時迄　院長　正六位勳四等功五級　島崎龍一　電話二七三六番　京城旭町二丁目本町通り左に入る

中元御贈答品

發賣元　藤製菓合資會社

朝鮮總督府編纂『最新刊』　東部西伯利地圖　定價金參拾五錢　郵稅二錢　右部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候　發賣元　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇・三〇〇九番　振替京城三〇〇番

新荷著（目錄贈呈）　京城本町二丁目二十九番地　山葉樂器朝鮮代理店　販賣元　釘本樂器部　電話二一八三番

▲化學用　白硝酸　硫酸　鹽酸
▲鑛山用　醋酸
御照會次第値段申上ぐべく候　京城明治町貳丁目　各種藥品問屋　島久京城出張所　電話一四四四番　振替京城六七七番

數學者の手帳から　增補訂正　第四版　萬人必讀の高級常識！　何人も知らねばならぬ度量衡に關する常識　統計測量製圖に關する常識　天氣豫測に關する常識　曆天文　極めて平易に說明せられた實用的な常識　貨幣　租稅公債　株式　等の經濟事項を網羅せり　濟野耕治先生著　中判三百餘頁　定價壹圓廿錢　東京市外柏木四三六　平凡社　振替東京二九…

味の素懸賞中止に就て

本月六日本紙掲載の『暑さ忘れの面白い懸賞』と題する廣告は其筋の注意に依り午遺憾中止致候間不惡御諒恕被下度此段謹告仕り候

追て既に申込の諸君に對しては別に相當の方法可致考究中に御座候

八月一日

味の素本舖　株式會社鈴木商店　東京京橋南傳馬町　廣告課

◇總司令官任命 日本に統率權委任

浦鹽の聯合軍統率權は我國に委任されたるを以て總司令官人選中なりしが目下重要軍職にある陸軍大將○○○任命せられ來る○○日東京發の豫定なり（東京特電）

◇浦鹽○○輸送船 ○○の形式は船舶管理令の適用に據らず

浦鹽○○輸送船は既に契約を終り○○日輸送開始の筈なるが總噸數○○噸總數○○隻、郵船、商船、三井、辰馬、內田、山下、樺太各所有船にて○○の形式は船舶管理令の適用に據らず遞信省仲介傭船こし指揮官○附なりこ尚右船は目下閑散なる近海航路より引揚ぐるを以て船繰りには何等支障無しと（東京特電）

◇浦鹽出兵通告 林公使

林公使は五日午後五時段總理を訪ひ日本の浦鹽出兵を通告せり（北京特電）

◇佛兵太沽出發說

佛國の浦鹽出兵軍は五日午後太沽より出發す可しと傳へらる（北京特電）

◇鑛山國有決議

石田領事代理報告に曰く在ニコラエウスク鑛夫組合は六月三日プリモールスキー鑛山管區所在各鑛山の國有を決議し委員を各地に派遣せる由然し勞農執行委員會長は右は外人所屬の採金場に及ばずこ說明せり（東京特電）

◇佛軍ソアソン入城

巴里よりの公報に據れば佛軍はソアソンに入城せり（倫敦電報）

◇佛軍ブレースに前進

佛軍はソアソンを占領しブレースに至る迄全線前進中なり（巴里電報）

◇佛軍ウオンチリー到著

佛軍騎兵一隊はウオンチリーに到達せり（巴里電報）

◇獨軍退却地點

ヴエール河以北の各地點にて退却中の獨軍はエーヌ河以北に足溜りを得べしこ期待さる（合同通信電報）

◇小亞希臘人立退

基督を信ずる小亞細亞の希臘人は二十五萬人以上あるが右希臘人はサロニカの豐饒なる地方より土耳古人の爲めに立退を請求せられたりとの報あり（紐育電報）

◇瑞議長承諾通知

瑞西政府は最近同地に開かる可き米獨俘虜交換委員會議の議長たる事を承諾したる旨通知し來れり（紐育電報）

◇兵役年齡擴張勸告

米國陸軍卿ベーカー氏は曰く余は兵役年齡を最低十八歲最高四十五歲に擴張する事を議會に勸告す可しと（紐育電報）

◇遼銀組織變更

鈴木氏の東拓入社　氏は今回東拓に入りて參事こなり同時に齊藤店にある遼東銀行の相談役こ成たるが同銀行は從來支那側銀行奉天支店（鈴木源之[illegible]）…（奉天特電）

◎浦鹽輸入規則の制定

[illegible]中左記貨物の禁止を解く（品目三、戰時輸出禁止品中大豆、木材、[illegible]）但し[illegible]之を許可す其の他輸出禁[illegible]に出席したるも今後は之に關[illegible]を許可す又本令規則第三條の委[illegible]

人のみの經營に係りしも今回百萬圓に增資し關東州に於ける鐵工組行の勞務を營み東拓を大株主こせる日支合辦の株式組織こなりたり（大連特電）

◇大連內地航路 配船困難と廻航

大連門司及び神戶間の命令定期船中篤義丸、臺中丸の二船は○○の爲め當分前記の定期航路に就かず但し哈爾賓丸は目下船渠にありて二十六日迄就航せざるより配船困難を極め居れり因に大阪商船にては取り敢ず日新丸、須磨丸を廻航し大連內地間の航路に就かしむる筈なりこ傳へらる（大連特電）

◇下關立會休止

下關期米市場は正米高減少の爲め立會亂調を來し仲買總會を開き理事協議の結果六日市場休止せり（下關特電）

◇武市代議士入會

德島縣代議士武市彰一氏（無所屬）は五日新政會に入會せり（東京特電）

◇東羅南旅團長新任

東羅南旅團長は六日午前七時入港の○○丸にて入港し午後八時釜山出帆元山經由清津に向へり（釜山特電）

◇米出兵宣言

華盛頓來電＝米國國務卿代理は西伯利に於ける日、米行動に對し新聞紙上に左の如き發表を爲したり（倫敦電報）

米國政府が全時局に對し繰返し且つ愼重に考慮を回したる後に得たる判斷にては露國に於ける軍事的干涉は目下の混亂を增加せしむるよりも寧ろ混亂を恢復せしむるの虞れあり、是れ露國を救ふものに非ずして却つて傷ふものたる可し又是を以て東方より獨逸を攻撃する事の直接の目的こして有效なりこ考ふる者あるも米政府の判斷にては斯の如き企ては單に露國を利用するの一方法こ化し去るの虞ありこ信ず露國々民は是れに依りて絕望的困難より自己を救ひ出さんこするに於て夫れに依りて利益を享くる能はず、又自國の人民に給與するに非ずして物資は外國軍隊を維持する爲めに使用せらる可し我等は今や西部戰に於て勝利を得んこする決定的にして且つ自信ある目的に我等の全精力を傾注す、故に此際兵力を分割するが如きは策の得たるものに非ず、米政府は現下の事情に鑑み軍事上の行動は二點に於て容認す可きものなりこ信ず

一、は獨墺俘虜が武裝してチエツク、スラヴアツクを攻撃せるを以てチ軍に出來得る限りの援助と保護を與ふる事

二、は露國々民が＝自衞と自給の目的に努力しつゝある＝露國々民が浦鹽より將たムルマンより又アーチエングルより援助を與へらるゝを喜んで承引し是に由つて努力の一助たる場合に限る事 是なり米國軍隊の使用せんこする唯一の目的は後日露國軍隊の必要こするに至る可き軍需品貯藏所を護衞するこ同時に其護衞的防備を整へ彼等が歡んで受納す可き種類の援助を與へんこするなり、此見解にてムルマン方面に佛、英こ提携して一時の力を致し居れり尚ほ以上の目的を達成せん爲め西伯利方面に十分の力を用ひ得る者は日本と米國となるを以て日本に對し兩國より數千の兵を浦鹽に派し同地を占領の上チ軍の後方警備に任ぜん事を提議したるに日本は是れに對して承認し來れり、米政府は敍上の行動を執るに當り最も公明正大なる方式に據りて露國民に對し下の如く宣言し置かんこす

米政府は露國の政治的主權を侵犯するの意志無く又內政に關しては米政府が一時占領を餘儀無くさる可き或限定されたる地方こ雖も全然其內政に干涉するの意志無し現在こ將來こを通じ領土の保全を害ふが如き事無きは勿論なり米政府の單一無二の目的は露國民が自己の治權、自己の領土、自己の運命に對する支配權を自己の手に恢復せんこ努力する場合彼等が懌んで承引す可き援助を與へんと謂ふに外ならず日本政府も是こ同樣の保障を發す可と察せらる米國政府は此の計畫と目的こを英、佛、伊三國政府に通達したるが三國政府は主義に於て贊同し來れり 米國政府は是こ同時に機會の起る每に秩序的に或る組織的方法を設けて適當なる敎育的援助を與ふる事に慣れたる商事委員、農業專門家、勞働顧問、赤十字代表者、基督敎代表人を西伯利に派遣せんこす、此計畫はチ軍に與へし軍事的援助を妨ぐる事無く米國政府の希望と期待は聯合諸國が必要なる處、可能なる處に於て是等の軍事的、經濟的計畫の實行に援助を與へん事なり

◎內地行貨狀況

七月三十一日現在滿鐵京城管理局線內に於ける內地行連絡貨物滯貨及び其の輸送狀況左の如し

▲在荷數量

局線內各驛滯貨	本州線米原以東行	本州線彥根以西行	下關及九州線行
二月中申込	三五三	〇	〇
三月中申込	一、〇三六	〇	〇
四月中申込	二、〇七七	一四	〇
五月中申込	四、二〇三	〇	〇
六月中申込	三、六二一	六、七九九	一六
七月中申込	二、二〇四	二、三二六	一七二
計	一三、七三一	八、〇四九	一八八
釜山積揚滯貨	一、一六〇	七八〇	一、三九九
局線內輸送中	一、〇〇〇	七八〇	一一七
合計	一五、八九一	九、六〇九	一、七〇四

尚ほ關釜間及び山陽線輸送力を見るに本州行米原以東鮮滿發二百五十噸、釜山地發五十噸、彥根以西鮮滿發二百四十噸釜山地發六十噸合計六百噸にして九州線行鮮滿發百六十噸釜山地發四十噸合計二百噸なり而して局線發送に對する制限は車扱ひ承認車數本州行每日十五車九州行每日四車にして一驛一日の發送噸數二噸米大豆を除く外は制限み附せず

◎鮮米移出注意

去る六月十四日大田中村捨三なるものより白米三十三叺を神戶某米商へ賣渡し當時內國通運會社大田支店に託して發送せし處鮮米も外米同樣農商務大臣の許可證無くば通關不可能なる理由の下に神戶稅關に於て移入を拒絕されし事實あり右移出米の數量は少額なるも鮮米が未だ曾て斯かる理由の下に通關を拒絕せられたる例無く依つて出荷南通員官より神戶稅關長に交涉し一方通運會社等に對しても交涉する處あり右は此程事情判明したるが神戶稅關長の回答に依れば敢て許可證の提出を促したる譯にはあらず朝鮮稅關の移出免狀の提出を促したるものにて朝鮮米は外米この混同を避くる爲め朝鮮移出港の稅關より移出免狀の交附を受くべきを右の手續きを知らざりし爲めの間違ひなる事判明せるが斯くの如きは大商人中には右の手續きに就き知らざる者無きも中には間々此の種に類する行き違ひあり注意を要す

◎東拓鮮內貸出

七月三十一日現在東拓鮮內貸出高總額は二千二百五十三口、九百五十六萬七千三百五十七圓十錢にして內定期六百八口百八十三萬六千九百四十三圓四十錢年賦千六百四十五口七百七十三萬四百十三圓七十錢なりこ

◎公會堂進捗（設置）

公會堂建築に關する寄附金募集は漸次順調に進捗し目下個人に就て募集に著手中なるが六日午前商業會議所に於て鮮人側の評議員集まり之に關し協議する所ありたり

◎各銀行帳尻

七月三十一日現在京城九組合銀行の帳尻を見るに左の如し

▲預金

種別	金額
定期預金	一九六四、五五九一
當座預金	六八六、二二二六
特別當座	五二九、〇二二一
諸預金	二二九、七五六二
合計	四四三九、五五〇〇

▲貸出

種別	金額
普通貸附	二〇八二、二〇八三
當座貸越	三七一、一八六七
割引手形	二一五七、六六五〇
小切爲替手形	二五、六八〇六
合計	四六三六、七四六

尚ほ此れを前月に比すれば預金に於て百八十九萬五千七百十九圓貸出百六十二萬三千二百九十四圓を孰れも增加せり

◎兒島司令官入京

兒島憲兵隊司令官は別項の如く六日午後九時十分南大門驛著入京したるが驛には古海前警務總長、中村參事長、警務總監部、文武高等官各警署、憲兵分隊の長以下各部、總督府高等官、在鄕軍人分會、各銀行、會社重役、新聞通信雜誌社代表者、朝鮮側よりは大正親睦會幹事三參事其他十數團體の出迎へあり中將は古海中將こ握手したる後出迎者に對し一々答禮し驛前にて馬車に搭乘し騎兵に前後を護衞され朝鮮ホテルに入れり

◎美濃部總裁赴任

美濃部鮮銀總裁は六日午後九時十分南大門驛著歸任したるが驛には各重役の出迎へありたり

◎中等敎員試驗（施行）

中等敎員（師範學校中學校高等女學校）檢定豫備試驗は愈々七日より十七日迄（日曜日を除き）十日間每日午前八時より南山高等女學校に於て施行さるべきが受驗者は總計廿名也こ尚受驗者は當日以前總督府學務局に出頭諸般の注意事項を承合する事便利なるべし

◎鮮銀發行高

七月二十八日より本月三日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は六千五百五十七萬圓にして週末の發行高は六千七百五十七萬圓を示し漸次膨脹の傾向にあり

◎釜山草梁倉庫（滿貨）

釜山草梁營業倉庫滿庫に付き滿鐵京城管理局にては當分の間同倉庫行き貨物の到著扱（庫內及び野積共）取扱ひを停止すべしこ

◇大村菱田兩將軍（進退）

待命中なりし羅南大村中將菱田少將は六日朝須磨丸にて內地に歸還せり（清津電報）

◎三醫官渡歐期

滿洲へ出張仰付けられたる總督府醫院醫官水津信次、渡邊晉及び咸興慈惠醫院長久德隆篤の三氏は來る九月十八日横濱出帆の郵船に搭乘米國經由渡歐の途に就く豫定なり

◎高島氏の講演

九日午後四時より南山高等女學校講堂に於て心理學者高島平三郎氏の通俗講演ある可く一般の來聽を歡迎すこ

◎忘機吟社例會

忘機吟社八月例會は來る十一日午後一時より大和町三丁目曹谿寺に於て開會すべく當日の課題左の如し
園居夏晝　江邊步月

◎高瀨東拓理事

奉天駐在東拓理事高瀨梅吉氏は滿洲經營方面の視察を爲し六日朝入京朝鮮ホテルに投宿直ちに東拓京城支店に川上理事を訪ひ種々打合せを爲せるが七日午前八時四十分南大門發列車にて東上すべし

人事消息

▲林倉助氏（不二商業專務取締）六日夜入京南鮮旅館へ
▲加藤武夫氏（明治專門敎授）同上天眞樓へ
▲境靜助氏（東拓拓殖課員）同上
▲田中唯一郎氏（日清生命取締）同上巴城へ
▲渡邊彌太郎氏（東京鐵廠家）同上
▲今溝安輔氏（鮮銀秘書）同上不知火へ

送立花古海兩將軍　大垣　金陵
多年知遇奈離酬。君去關山又欲愁。他日風雲如有變。胸中測策與誰謀。

同　次韻　服部　江南
偏裨軍營協唱酬。江山今日不勝愁。千年青史兩將略。須記警時參畫謀。

送吉將軍東歸　此經　霞山
鴨綠江南未識秋。都人何早恭新愁。將星連渡玄洋水。北塞妖雲是敵讎。

送七將軍榮轉　爲　見城
雲の峰高々こ鳥群れ立てる
○
登る程蕭るなり夏の富士
○
人馬ドット去る夕立の菅逸か　日池

鳥瞰雜俎

◎浦鹽政府と堀輪土市府の喧嘩は厄介其勢力爭は支那政爭に勞る
◎何やら分らぬのは現時西伯利の政情也
◎浦鹽にては過激派依然勢力
◎最近市會議員の選擧にも過激派絕對多數を占め他派は依然として破る
◎彼を滅ぼさずんば聯合出動無意味
◎處が聯合中には過激派に同情を寄せつゝある者在り妙なこと哉
◎一體今回の聯合浦鹽出兵は北清事變こ同樣聯合國兵共進會の觀在り
◎唯司令官が當時の獨將の代りに日本より出る位の相違こは皮肉
◎北清事變の際一番出兵の多かりしは日本で一番苦戰せしも日本兵
◎而して一番餘計な分け前を取りしは日本に非ざりしが如しこ覺ゆ
◎今回の出兵も日本が一番多きが如し露國に一番歡迎さるは何國兵か
◎屆能な事を云勿れ日本の出兵は分前に非ず人道國際に基く結果を見
◎支那は滿洲里に出兵し之日支軍協約に依に非ず單獨行爲也こ云
◎然らば日支協約は何う云ふ時に適合するものにや聞度者也如何に
◎天津會議も却々物々しけれど其の神而が日上物々しきは支那流也
◎曹家花園の奧座敷を敵する麻雀音は治外法權の興遊盡るを知らず
◎鐵枯し手毛むしやの手素裸體の手華奢な手卓子を圍んで縱横亂又
◎日く曹錕倪嗣冲張懷芝張作霖が其手の持主結局作霖百萬元を贏
◎曹錕一夜に此巨額を擲ち捲土重來の計畫こは扨も風流な將軍連哉

◎大田自動車運轉[illegible]　普校工事落札　大田公立普通學校[illegible]安子部及び大田公立簡易工業學校[illegible]

藥 淫羊藿エキス

定價　二十五入 金壹圓　三十五入 金壹圓五十錢　四十五入 金壹圓九十錢　五十五入 金貳圓三十錢
送料　鮮內 二錢　鮮外 三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる效驗ありこ支那朝鮮兩國人に愛用せられしが產出一地方に限られて彼の高麗人參の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の效驗は遙かに人參を凌駕すこて醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥劑家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも强壯劑こして將亦精力增進劑こして有效なることを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書により其の效能の顯著なるは明白なりこ雖も何如なる成分が人體に有效なるかは彼の神秘的なる人參こ同じく明白ならざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有效なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失こ思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスこなしたるものなり

效能　主治
一神經衰弱症　一胃腸病　一ヒステリー
一貧血症　一腎臟病　一ヒポコンデリー
一腦病　一生殖器病　一老衰
一肝臟病　一リウマチス　一精力減退

以上に依り適應症左の如し
一、精力を盛んにし精神を爽かにし體力を增し元氣を良くす
二、思考判斷及記憶力の減耗を癒す
三、諸神計算の疲勞を癒す
四、安眠し亦眼の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及便通を良くす
七、產前產後及病後の衰弱に良し
八、血の道氣鬱症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒し營養を良くす
十一、手足腰の冷ゆるに良し
十二、肺疾患性及子宮病に良し
十三、瘰癧に良し
十四、長壽なるべし

用法及服量　一日半グラム乃至一グラムを溫湯に溶解し若くはオブラートに包みて飲用す
注意　空腹の時飲用するを良しこす。エキスは香氣苦味を併有す清酒にて吞下すれば樂なり。本劑は少くこも一ケ月以上繼續して服用すべし然らざれば效果少し。六ケ月以上に至り效能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラム大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金（京城日報代理部振替京城三〇〇番へ拂込み通信欄にて御注文の事）にて御申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損こ相成可申候
▲價格五十圓以上一時に御注文の方へは一割の特別割引を可致候
▲本藥取次販賣の御希望有之候はゞ御相談可申上候

全國一手販賣　京城太平通り　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番構內十八番　振替京城三〇〇番
京城特約店　山岸天佑堂　北島支店

魚釣具　投網　卸小賣
鳥捕用カスミ網各種あり御申越次第定價表進呈
京城永樂町貳丁目　吉備商會　電話三一四番　振替京四三一八番

優等清酒

廣島縣西條町　醸造元　木村靜彥
京城府鍾路（中央市場）　發賣元　河野酒店　電話二三〇八番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　振替貯金口座京城三三〇番　電話六〇一〇番
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

眼科專門　入院隨意
江頭眼科醫院
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

外科皮膚科　瀨戶醫院
京城旭町二丁目（電話二四九八番）（診察夜九時迄）　醫學士　瀨戶潔

醇良無双清酒
衛生無害品質無双

發賣元
京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　電話長一七一一番
釜山港幸町　首藤釜山支店　電話長三四三番

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店
帝國火災保險株式會社京城代理店
大阪海上火災保險株式會社
つちやたび、並ニいろはたび　朝鮮代理店
京城本町二丁目　貿易雜貨商　藤富國太郎商店　電話二〇八番　振替京城一七八番

金剛山寫眞帖

定價　金貳圓五拾錢　送料　鮮內 三十二錢　鮮外 三十二錢

金剛一萬二千峰の絕勝中其の精を抽き粹を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一卷の美事なる畫帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂る金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べくる時將に漸く盛夏に入らんとするべき縫かば凉風腋下に湧くの概あるべくに又たた近時交通の便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絕好無二の東道者たるべし殊に製本は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接室等に備ふるには極めて適當なる畫帖なり

發賣所　京城太平通　振替京城三〇〇　京城日報社代理部

☆新警務總長兒島將軍の著任 (六日夜南大門驛にて)

○兒島新總長を迎ふ

豪快な笑ひ—盡き無い外交談

『我輩は獨身生活をやるから盛んに官邸に遊つて來て呉れ給へ但し夜の一時頃』

新任憲兵隊司令官兼警務總長兒島惣次郎中將は六日午後九時十分南大門驛著任した車中に出迎へて刺を通ずれば『やあ御苦勞』今後大いに諸君から

◇朝鮮の事情 を聞かなきやならん』まあ掛けて大いに談じようぢやないか』と豪快に笑つて席を割いて與へ『京城ぢや我輩の相場をちやんと決めて了つたらう、チニ立花中將や松川大將から我輩の人物評を聞いたつて、隨分惡口を言つたらう』立花中將は我輩が士官候補生時代の先生だつたし、松川大將は大學校での先生だつたから

將は更に勵聲して『だがね同化政策や外交問題なんて言ふ事は吾々よりも操觚界で餘程國家的觀念を以てやつて貰はぬと影響する處が多いからね、外交問題にしても

◇政府が何如 に謀議偉略を用ひても新聞で日本は惡う言ふ手を以て斯うする、なんて無茶を書かれたら折角の名外交も水の泡に歸して了ふ、政府攻撃の如きも子供が世間に對して家の親父は放蕩三昧に耽つてる、働きがなくて家内に風波が絶えぬなど、吹聽するのと同じで如何に親父が羽織袴で威儀を正しても世間ではつひ輕んずる

◇外交の機敏 に通じて居る者は實際冷汗をかくよ』中將は日露戰爭當時明石大將と共に獨逸にあつて活躍をした事がある程で獨逸流の外交的手腕があるので有名である、中將の外交談はハズんで盡くる處も知らなかつたが其處へ數人の新聞記者が押かけるさ、『我輩は獨身生活をして居るから盛んに官邸にやつて來て呉れ給へ但し

◇夜の一時頃 にだよ』と愉快さうに呵々大笑する、沿線各驛には憲兵及び警察官の迎送があつたため中將は一々プラツトホームに出て答禮したが憲兵補助員を指して『顏を見ると內地人と一寸見分けがつかぬ、言葉は一寸聞いたが朝鮮語には音が多くて世界中の發音を持つてゐる獨逸語なんかには適當してゐるだらう其點になると日本人は情ない程だ』

◇昔の缺點 なら澤山知つてる筈だ、我輩も口の惡い先生と入れ替へになるんで油を絞られないで濟むから有難いよ、市川內野兩少將は若い時から同じ樣に進んで來たのだから今後一所に顏を合せるのが愉快だ、朝鮮に對する抱負なんて言はれても困る唯語學に刷つてある規則通り、前任者の執り來つた

◇方針を忠實 に守つて行く許りだ、それで若し惡い事があればそれは規則と前任者が惡いと言ふ事になるのさアハツ、、、』と腰掛が跳上る程大きく笑つた(中)

兩陛下御避暑

六日日光田母澤御用邸へ

天皇、皇后兩陛下には六日午前七時十五分御同列にて波多野宮相以下各供奉員を隨へ宮門御發同八時上野驛御發途日光田母澤御用邸に御避暑遊ばされたり(東京特電)

○軍刀を引拔いて

髯蓬々の後備中尉

今度も是でやるかなと言ふ 戰時氣分が漲る釜山 列車

南大門驛發釜山行き夜行列車が○○令に接して急遽出發の○○數名を乘せて萬歲々々の歡呼を後に發車してから車中は暫時時局問題で賑つた、汽車が

☆水原驛を 發した頃曹長の軍服を着けた男が『いや何うも此度の○○は急でした、僕は今日の一時迄は役所に勤めて居たのですが○○令を受け取つて見ると直樣出發しなければ間に合はないのですからね何も彼も打つちやらかして飛び出した始末です』と語ると無顏から乘つて來たと云ふ伍長が『そうですか實は僕もそうです』と云ふ

☆其の横合 から後備中尉と云ふ髯蓬々の生ゐた軍人が『何も國家の爲めぢや、やれやれ吾輩なんか何萬圓と云ふ事業を捨てゝ出るのだからキツイさだが國家の爲めぢや殊に吾輩は遊んで居て年に五百圓も恩給を貰つて居たのだから斯麼場合ひに盡さなければ罰が當るぢや』是で話が一段落

☆品評會 が始まる、軍醫くさ今度は軍刀の後備中尉は軍刀を引拔いて『そら君、此の曇りを見給へ、隨分やつつけたのだからね』此度もやつつけるかね、アハヽヽ』と哄笑すると軍刀は波を打つて乘客をヒヤヒヤさせた、斯うした戰時氣分が車中一ぱいに緊張を覺ゐた頃隣席に眠つて居た七八つの

☆男の子が 俄に泣き始めた、すると一人の○○が『何だ日本の子供は泣いてはいけない、さあリンゴを上げ樣』と宥めると『君、君の坊ちやんかね、何處へ連れて行くのぢや』と髯將の中尉が云ふ『連れて行く譯ぢや有りませんが門下家內が病中の處へ先刻お話した樣な朕の出發で仕方が無いから此子は內地の伯父へ預けるつもりです』と語つてから此○○は俄に沈默した

☆病中の妻 預けらる、子供の事を思ひ出して冥想に沈んだのらしい、夫から汽車が大田驛に著く迄に同じく○○され行く三人の○○が乘つた(京釜線列車中一記者)

○軍人遺族を慰問せん

愛婦朝鮮本部 各支部と呼應して活動

愛國婦人會朝鮮本部が六日事務所に於て常務委員會を開き應召軍人慰問に關する協議を遂げたることは六日夕刊所報の通りなるが右につき大橋主幹は語つて曰く

六日に寄つて頂いたのは常務委員だけで協議の結果は取敢ず應召軍人の遺族を訪問し救助することになつた、これは從來も度々例のあることで今更取立て、言ふ程のことでもないが

◇右の目的 を達する爲め各分會長は先づ應召軍人の住所氏名は勿論家族の數その生活狀態等を調査しこの調査が終つた所で始めて實行に移る豫定であるだから實行迄にはまだ可日の餘裕がある譯だが地方の支部委員部にも本部と歩調を合せて獻身的に活動して貰ひ度いと思ふので

◇この趣を 夫々通知することになつてる出征軍人に慰問袋のようなものを贈るか何うかと云ふことはまだ決まつて居らぬがこれはモットモット戰局が進んでから着手しても遲くはあるまいと思つてる先決問題は矢張り遺族の慰問救助で婦人會としては差當つてこれに全力を注ぐことが必要であらう何しろ

◇京城許り でも三千からの會員があり金鎚を打つて一丸とすれば一萬五六千と云ふ大多數になるからこれだけの者が一心同體になつて努力すれば隨分眼醒ましい活動が出來るだらうと思ふ軍國多事の際帝國婦人の奮起を望む、因に赤十字社本部に於ても救護班を組織して傷病遺族の求護に從事する計畫あり近く事實となつて現はるべしと

○祝杯の音も涼しく

☆☆立花將軍名殘の野外宴☆☆

—朝鮮ホテルの後庭……夜涼裡の歡會—

十年近くも京城に駐在して這回大阪の第四師團長に榮轉して明日の日にもいよいよ住み馴し朝鮮をうしろにして去る可き立花將軍は六日の夜朝鮮ホテルの後庭に

☆紳紳 二百餘名を招待して盛んなる名殘の宴を張つた、庭園は何も九十度を昇る今日此頃の暑さに室內ではムサクロしからうとの主人の心盡しからであう、砂利を蹈む

☆足音 も涼しき同庭園の綠陰に六角堂から萬國旗を引き交へその下にバラバラと數十の卓子を雜作も無く配置された、日も落ち果から

☆涼風 サツと送り來る頃主人は山縣政務總監を先登に一同をソコへ案內された、酒三行稍夜涼を覺ゆるや主人將軍は堂の階に立つて叮重なる

☆別辭 を述べ次いで山縣總監の主唱で一同起立祝杯の音涼しく主人の健康を祝しソレから四つの四阿に設けられた模擬店に各々思ひ思ひの食を取つて歡を盡して散會したのは九時過ぎであつた

圖 立花將軍の留別宴

○應召者鴨綠江增水に悩む

○○召集に由り出發せる在鄕軍人は四日發天長丸にて安東縣に上陸朝鮮線出歸國の筈なりしも鴨綠江增水の爲め天長丸四日五日共出帆不能となり營口より京奉線に依り安奉線の不通箇所を徒歩連絡して歸國せり因に應召者は孰れも鐵道不通の爲め困難を極め居れり(大連特電)

○圖案募集好況

サツポロビール京城出張所が目下募集しつゝあるサツポロビールの廣告圖案募集は應募者非常に多く六日までに既に百通を超ゐたるが來る十日締切までには更に多數の應募を見るべく即ち作者多き由

○立花夫人の出發

立花師團長夫人及び家族は八日七時五十分師團長と同伴南大門驛から出發されます

○澁谷良英氏告別 森田商會京城出張所主任より福岡同商會出張所長に轉任せる澁谷良英氏は六日各所へ訪問告別の挨拶を爲したるが氏は八日午前八時卅分南大門驛發赴任すべし

讀者文藝 (二十日締切 十五日揭載)

▲下句付『憧れて』

◎憧れて著いた都で眼をぬかれ (一等) 龍山元町こ吳服店方 岡本烏石

▲風光に醉ふ高化の人 利川沂先生

▲見る浦里ば故鄕へ浦ね 龍山烏石

▲夢に描くや理想鄕 西鮮逸民

▲乙女可憐や旅の歩 利川客山

▲居て眠れない永い旅路 利川貞子

▲戶の月夜に笛を吹く 京城 樂天坊

河童の群から (一)

▼西氷庫へ 車內の暑さ 火の息と人の息 燐寸の燐のやうな

記者は今西氷庫行きの臨時列車に乘つてゐる、三日から練習を始めた京龍兩中學校生徒及び各小學校兒童の游泳振を見物する爲めだ、臨時列車の出るのは午後一時半、獨逸直輸入の何とかカメラを後生大事と小腋に抱へ込んだ寫眞班と二人暑い日盛りを喘ぎ喘ぎ

◆汗みどろ になつて停車場へ駈付けたのが發車前僅に一分と云ふ際どい所、即ち今乘つたばかりなのだ、列車は四輛ばかり連結してゐたが吾々の飛込んだのは一番後部の箱、中には學生帽を被つた大河童小河童が

◎苦し相に眞黑な ◎顏を混雜させて ゐる、何の事はない南洋土人が觀光に來たと云ふ形、白いものと云へば帽子の日覆ひと着物と笑ふ齒にギラギラ光る眼位なものである『暑いたねゑ』と言ふと、寫眞班も『暑いたねゑ』と鸚鵡のやうに同じことを繰返して合槌を打つ、然し

◆この場合 徒らに感心したり合槌を打つたりするのは當でない『早く腰を卸さねば……』と云ふので人波—ぢやない河童の波を掻き分け々々、三番目の車室に飛込むと此處も亦車河で一杯、ヒヤーとばかり眼を潰して逃出した二番目の列車も矢張り同じこと漸く

◎一番先頭の箱に ◎猫額大の空席を 出して吻と一息腰を卸した、所が今度は暑いの候の、無論窓と云ふ窓は悉く開けつ放してあるのだがその窓から流れ込む風が恰度灼熱し切つた燐寸燐でも潜つて來たやうに暑い、斯うなると風も最う風ではなくて

◆火の息だ お陰で總身は汗ダクダク、濡れにそ濡れた色は變らじとは言へ人皆言ひ立てだが何しろ斯う汗が流れては一張羅の請襟、單に色が變るばかりではなく臭くもなれば質八の値も下る、厄介なものに乘合せたものだが呀つ到頭汽車が動き出した、今更飛降りる譯には行かず最う仕方がない……龍山に著くと

◎此處から赤澤山 ◎の兒童が先生と 一緒に乘込んで來て折角の空席を遠慮なく占領して仕舞ふ、窓から流れ込む火の息とその火の息を呼吸する人の息と—車內は宛で炮烙の底の如く乘客は皆その炮烙の中の胡摩のやうにパチパチ彈きながら飛んで行き相だ、噴水が慾しい

腕一本で死ぬ迄出來る 月收多くて三百圓 職業 高等小學卒業程度の人なら少なくも二三十圓を下らず 資本不要 無經驗でも出來る 萬一にも損失の心配なく老後の心配なく安全確實 月收多き 説明書無代進呈 ハガキにて申込めば 東京芝區新堀町 人相新聞社

鑛物分析鑑定 時代ノ要求ニ應シテ最モ安全確實迅速ナル 日本西部鑛試驗所 博多網町 電話 三番

鐵道局拂下品販賣 夏洋服 冬絨服小倉服 紺セル小倉 外毛皮胸當外套チヨツキ各種多數 軍隊拂下品一式 和洋古衣服類一式 新調洋服類 右多少に不拘御用命被下度候 龍山元町二丁目(電一〇五番) 和洋古衣服商 官衙拂下品商 金子商店 振替口座京城三八三

京日案內 普通一回前金七拾錢 番外一回前金壹圓(但名一回廿字に付增加) ▲申込申後途掲載中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲前金御送金は返信料にあらざれば回答せず

番外 集金人募集 不問男女 希望者は履歷書携帶 (電二五〇) 南山町一丁目上る 朝鮮及滿洲社

代診生至急入用 姓名 仁川支局

店員入用 年齡二十歲以上三十歲位迄の者 數名希望者本人來談但要保證人 京城本町三 大石衣服店 福井屋

店員入用 十八歲より廿歲迄の者 希望者本人來談要保證人 京城本町三丁目電話一八〇一番 橋詰吳服店

外勤社員募集 株式募集保險勸誘希望者履歷書携帶本人來談あれ 其他多額の收入あり 永樂町公設市場株式 丸五商會 二の五現物問屋 黃金町二丁目(電二三五六) 右朝生命保險會社京城支部

乳母至急入用 御希望の方は 電話九九一番へ

內地 女子募集 廿五歲迄 履歷書携帶店務掛ニテ承合スベシ 龍山 總督府印刷所

洋服裁縫職工 多數募集す 至急來談あれ 丁子屋洋服店

優遇法あり 女事務員入用 希望者は自筆履歷書携帶本人來談あれ 京城本町壹丁目 津村兄弟商會

某醫院讓渡 市內屈指の場所 內外科婦人科各室の設備完全電話厨房浴室等具備權利充分なり希望の方は御來談あれ (姓名在社)

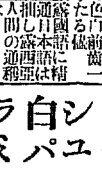
計算係一名入用 簿記算術の達者 (午前八時迄に)本人來談 古市町一四 近藤運送店

ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

株主となる捷徑 最も輕便にて趣味に富たる方法にて 各株式現物販賣 詳細案內御申越次第進呈 大連市駿河町一九 滿鮮證券信託株式會社 電二〇一番・一六五三 京城府明治町二 滿鮮證券信託京城支部 同出張所 仁川宮町

毒の病 短期に治る 梅毒、淋病、リウマチス其他一切の病は本社の特效藥にて必ず根治す 初期の病は二週三週も永く服用の要なし 劑は只一回試服せば偉大なる效が誰にも分かる 毒の病で苦む人は ハガキ出せ攝生の友一部進呈 東京淺草千束町二 旭製劑株式會社

懸賞搜索



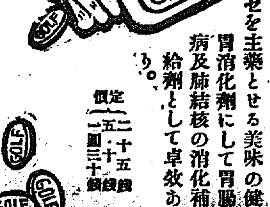
(玉置銀次郞)

愛知縣人玉置銀次郞 年齡廿五歲身丈け五尺一寸位顏丸く色白前齒一枚金入齒左手小指曲りたる儘 露國語日本語に精通し露西亞人間の通稱『セルギイ』は 右發見の方は最寄の警察署又は下名へ密告被下候最初の方へ金百圓進呈仕候 橫濱市境町 內藤

新調 尺八 無代進呈 紀念の爲今回入會者先着千名に無代進呈 獨特新式速成 自在尺八獨習 入會金壹圓免除 ドンナ素人もスグ上達する事請合 其他に類のない初傳中傳奧傳の免許狀を與へ師範となり教授所開業の資格特典あり 入會者には備に金六拾錢 送料共六十八錢海外は九十錢 東京淺草三筋町 尺八研究會 振替東京參八十參

補血 強壯 高麗人蔘エキス 大原藥局 定價 十日分 一圓 二十日分 一圓九十錢 四十日分 三圓二十錢 八十日分 五圓五十錢 百廿日分 七圓五十錢 京城明治町一丁目 電話一九四八番 振替京城三七五三番

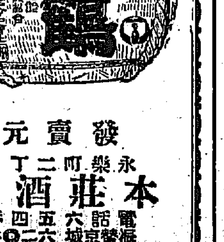
外科花柳病 醫學士 齋 勇 內科婦人病 醫士 齋 豐次 入院隨意 京城本町五丁目稻荷座前 電話二〇二二番 大和病院



消化 健胃 ゴルフ 東京室町 泰昌製藥株式會社 ゴルフはタカヂアスターゼを主藥とせる美味の健胃消化劑にして胃腸病及肺結核の消化補給劑として卓效あり。 定價 二十五錢 一五十錢 一圓三十錢

資本金參百萬圓 明治三十八年設立 株式會社 漢城銀行 京城府南大門通壹丁目十四番地 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 頭取 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 支配人 石鎭衡 電話長六〇一番 支店 水原、平壤、大田、開城、南大門 出張所 釜山鎭、東大門 ...

優等清酒



發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話四五六 振替京城二〇六番

京 夏洋服 (上下二枚 折襟詰襟 制服同値) 送料(鮮內二十四錢 外五十錢)
ヘイヤクロス(品切)
斜子本リンネル 白及ビ薄茶 金拾七圓五拾錢也 金拾六圓五拾錢也
シユランク 白及ビ薄茶 金拾六圓八拾錢也 金拾五圓八拾錢也 金拾參圓五拾錢也
白パナマ地 金拾貳圓五拾錢也
ラミー麻(白及ビ薄茶) 金拾貳圓五拾錢也 金九圓貳拾錢也
白綿リンネル 金七圓八拾錢也 金七圓參拾錢也 金六圓五拾錢也
▲地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申候 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店 京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話四一〇三九番 振替口座四三九番 樽賣御斷り

妻の心（つまのこゝろ） 五十八

九の八 小林蹴月作 武内桂舟畫

『では、禮さん。』と、喜久子は、少時過ぎてから、再び意地わるさうに口を開いて、
『一體、お前もお前ではありませんか。奉公人と一緒になつて、實の親の陰口を云ふとは何のこッてす。それもまあ、親と子の仲なら我慢する丈は我慢も爲ませうがね、お前は、櫻井の順さんが折角親切に轉地療養を勸めてお呉れたにも拘はらず、無情にそれを拒絶してお了ひださうだね。』
『はい、氣が進みませんから、お斷りしたまでのこッてす。』
『いゑ、その拒絶の仕樣が、只氣が進まないとか、身體の調子が面白くないから……とか、云ふ丈の理由ならば關ひませんが、今も順さんの話で聞けば、お前は順さんに對して、從兄妹の緣を絶つやうな事をお云ひださうだね。』
お俊の陰口も無論喜久子の腹を立てた直接の原因には違ひないが、奥底には既に此の一件が纏まり挾まつて居たからこそ、雨の中をわざわざ隱居所の方から遣つて來たのである。禮子は、豫じめ承知の上ではあつたが、故意と左あらぬ面色を裝ひ、
『妾、阿母さまのお詞ですけれども、櫻井の順さんは、稚いさい時から蟲が好かないんで御座いますの。それが近頃になりましてから、一層嫌ひの度が烈しくなつたのですから、何も親族の緣を絶つとは申しませんけれども、妾の部室へは來て下さらぬやうにと、お斷りしたんで御座いますわ。』
『何ですッて、蟲が好かないから近づいて呉れるなとお斷りしたまでの事だとお云ひなんだね。』
『左樣で御座いますわ。』と禮子は投げるやうに云つて、その眼をお俊の方へ向けた。
『俊や、お前、愈々宿へお退りなら、妾少しお前に云つてきたい事があるから、彼方へ行つて、荷物でも取纏めたら、も一度此處まで來てお呉れね。』
『はい、妾も奥樣に少々申上げきたい事が御座いますので……。』
と、お俊は、殘念さうに喜久子の顏を横目に覗ながら座を起つ。
喜久子は、そんな事知るものかと云ひさうな顏色で、執拗くも小膝を前に押し出し、
『禮さん、そりやお前、火の不了簡と云ふもんだらう。今の此の場合に順さんが若し骨を折つて呉れなかつたら、物の半年と經たない内に、此の町川家の財產は、ねこそぎ久さんの得手勝手に搔き廻されて了ふのが、眼に見ゑるんですよ。先達てからいろいろと親類の人達にも寄つて頂き、什うにかして久さんの籍を別に爲たいと苦心したんだけれども、法律に明文がないとやらで、それは却々急に埒が明さうもないんです。然うして見ると、此の上はもう仕方がありませんから、お前と久さんとは事實上……別居でも爲るやうにして……現在の夫婦でない事に取計らふより外はありませんのさ。乃でね、禮さん、まあ妾の云ふ事をお聞きと云ふのに……乃でだよ、愈々そんな事に取極めた以上には何に付け彼に付け、此方の骨肉ではあり、順さんのやうな物の分つた頭の好い世間馴れた親切氣の深い男の人が、付いて居て呉れなくては、末始終什うする事も出來や僞ないぢやありませんか？、それだのにお前は、前後の考へもなく、只蟲が好かないからと云つて、順さんを遠ざけて了ふと云ふのは、悋氣を燃やして氷へ火をタッ付るやうな馬鹿な仕方と云ふもんです。順さんも現に今、然う云つてお住だッたが、お前の頑腹は、幾分か什うかなつてや爲ないのかね。』
默つて聞けば、如何にも道理らしい理窟のやうである。けれども、禮子には、徹頭徹尾合點が出來ない。殊にその久三郎と事實上夫婦でない事に取計らふより外にないと云ふ事は、禮子として絶對に不承知なのである。
『……と、こそ出さぬか、是れでも此の母は自分の眞實の母であるか知ら……』と、疑ひの念を抱くほど……それ程、禮子は、母の眞意を情れなくも思ひ、口惜しくも感じた。

避暑地で……皮膚の荒れぬ様に

避暑地には水道の設備の無い處が多いやうです、而して井水も飮料には良くてもお化粧用つまり洗面に使つて皮膚を荒すことがあります、その爲に半月か一箇月の避暑の間に大變皮膚をだいなしにして歸る婦人がよくあります、それ故出掛けるには何うするか美容を保つ上にお化粧に先だつて大切なのは水です水道のある土地なればその心配は無いのですが井戸水を使用する場合にはごんな水にも必ず

◇硼砂 を溶した水を漉してから顏を洗ふやうにしたい、更に若し希望を言へば海岸の避暑は美容の爲に避ける方が良いやうです海の風をうけてはごんなに注意しても皮膚は傷められます、然し海水浴も病氣の爲め健康に適した場合には美容等を顧みる譯には行きませんから行くが宜しいです水浴後洗面をする場合には

◇日燒 けを治す爲に本邦產の黒砂糖を溶いたのを水に薄めそれで洗ふとよいと云はれて居ますよ。次に温泉に行つた場合は餘り度々入浴しその度毎に顏や襟を洗ふと秋になつてから皮膚が荒れますから日に二回を適度にします又温泉によつては白粉を變化させますから初めに腕等に白粉をつけて入浴して試る必要が有ます或は温泉に

◇手拭 を入れて色が著くやうな場合にはそれで顏や襟を洗つてはいけません必ず眞水で洗ひます、それから日本の婦人は外國人に比べて運動が不足と云はれてゐます、處がこれも平常は家事の時間で多少は運動することになりますが扨て避暑に行くと先づ

◇徒然 に送る日が多い上に日傘散歩の習慣がないのでごうしても運動不足となり易くその爲に胃腸を損じやがてそれが血色を惡くして美容に及ぼして來ますからこの點は大に注意しなければなりません

◇癖直しに熱湯を使ふのは惡い

黒い硬い髭の毛の人が熱い湯で癖直しをするとすぐ直るのを見て癖直しのお湯は熱いのに限るやうに思ひ赤い毛の人までが熱湯で毛を揉むのは非常な思ひ違ひで毛のため惡い事です始終熱湯で癖直しをして居る人の毛を顯微鏡で見ると

◆丁度黒貂の毛のやうに處々に割け目が出來て居ります、これが毛の棒毎にだんだん大きく割けて枝毛となつたり切れ毛となつたりするのです、又髭の毛のもとは活て居りますが長い毛の先の方は皆死んで居ります、それが熱い湯を使つて居るとだんだん元の方まで枯死した所が延びて來るのです

◆そして赤い毛となつたりしぐまのやうな毛になります餘り熱過ぎるお湯で癖直しをすると前に擧げたやうな缺點が起つて來るのです、それで粘り氣のあるものを混ぜた温湯で餘り毛を揉まずに蒸すやうな心持ちにして癖を直せばよいのです

日報歌壇

夏の宝 阪本緋雨
ゆかたの裸のうれしもよわが手枕に青葉しき われのれもらめ
青葉輕く香にたつ宿のうち友の裸の眼るなりけり
久にして訪れにたる友の家に葉ばたんの吹いてめぐれり
打ちめぐる青葉ポプラのさ揺げる葉かくれの窓に白雲が見る
わが役ら反の噛み破る硬氷菓のたかしも夏の前與に

○ みよし野
ほのかにも薔薇の花の匂ひ出づるはつ夏にし獨りなげけり

韓の少女 雪三郎
衣かつぎ韓の少女は行きすぎに笑みかわしけりいとしけめや
年わかく妾と呼ばれむ悲しみをほのかに見たりかつ衣の下に
夕されば美き韓少女の黒髪にうすく光れる翡翠の簪

□蝙 蝠 ―ゆの日十の月曾―

○浮碧樓
わが身勞働にも堪ふべききさまよへる蝙蝠
ひとりかたづくる飯櫃の輕き蝙蝠

○ 鳥堂
夕の空果のごきが蝙蝠にまぎれたのだ
窯場の一人は蝙蝠を飼はうとしてゐた

□涼夜吟（其の十八）
ハンモック
山荘に見る青きハンモック 闌川子
心高く釣床に揺られてゐたなり 青光雨子
釣床の人の現っと浪か風か 田打夫
實梅 草線
厠裏に忘られし梨や梅實る
青梅を落すや草に蛇歩る 田打夫

日報俳壇

■洪州吟社詠草
揚げ土の西日乾く田螺かな 凉火
土間にまり小錢數ふ田螺貰 鐵騎
佛前に白き一花や誕生會 一葉
願を鳴らす御僧やころゝ汁 大華

■新慕洞吟社詠草
出寺に引き風闘やところ汁 石楠
浦風に蚊帳干しあり百日紅 晴嵐
初夏の色うれし籠の茄子かな 無腸
わたましの初枇杷ダリヤかな 伯水
藥味と妻の氣轉やところ汁 寸鍰
初夏の陽に布干せる小家かな 山王

夏木立
暮るゝ河邊に鼻鳴らす馳馬や夏木立 春草
水鄕の夏木立涼む夕陽かな 同
球撞場の音涼しさよ夏木立 同
舟梧を汲める渡頭や夏木立 同
鳥語降る裏坂道や夏木立 同
啄木鳥の音聞ゆる夏木立 同
闘こなる白き流れや夏木立 同
江の風にチゲの樂庭や夏木立 不可人
晴き嘶ぬ鳥語ありし夏木立 同
夕空を飛ぶ白鷺や夏木立 漁明
伽藍鐘を空に搖ゆや夏木立 香仙
火藥庫を守る哨兵や夏木立 同
山門に續く家並や夏木立 湖劍
浴ぎ女の唄涼しさよ夏木立 同

晝寢
時計の音かそけくも我寢たり 春草
乞食の晝寢嘲る鳥かな 同
雛を遠く聲西日や晝寢覺 不可人
瓜小屋に風覺めたる午睡かな 香仙
温泉の宿に雨靜かなる午睡かな 同
工夫等の晝寢せし樹陰涼し 湖劍
牛車夫の晝寢と居る樹陰かな 同
休暇の讀書多き午睡かな 同

■湖南吟社兼題句集 課題『螢』
螢火や闇れよむ樵の闇 雨
水車番に火を借れば流れへ飛ぶ螢 同
岩の薜の闇に螢くや飛ぶ螢 同
闇に田の面を高く螢かな 同
兩人に往復蕭くて螢かな
螢火を吹けば流れや木の下闇
螢火や星の上に富士黒し
夜市人に汝が舟あり螢かな
螢飛ぶや木戸鎖しに出る雨戸の間
螢火の流れて更くる江の闇
落ちて螢ひ焦るゝ螢かな
螢火や啼く遠のくも守り
螢火や籠ぬけ螢草に消る
螢火の上に高くそれたる螢哉
傾城の風や籠ぬけ螢かな
漁火の夜の上にもあり螢かな
傳長安代の地響く雜水漲る螢
課題『百合』
鬼百合や雨師が山の月剛らす
草に隠れし山百合の花
鬼百合や谷間涌る滝の道
百合活けて朝の鬱陶のすがくしく
花百合や清行の肴に匂し
巌稜に百合咲く底の瀬音哉
隠れて巴片も路山百合
山揺くれの捨で場や百合の花
古郷の草笛さ百合の花
百合咲くや白蛇隠くれし草の中
宿の鶴越の海に各三句吐八
奥の竹題夏の海に各三句吐八
十五日締切大和町一丁目赤川
雨氏宛送稿の事

讀者の領分

▲或る官廳の役人さんは一般に官吏がぶれたセイか威張る、亂暴な取扱をされる、最もこれが嚴格と云ふのかも知れないが今少し丁寧に致して貰ひたいとは御願の註文（風聞生）▲元仁川に居て大分諸方に彷徨して遂に仁川に落ちた京城に來て居る破廷さん町の肉屋の女が彼の人を忘れ兼ねて追いて乗て來て臨び入つたと大にうらんで居ますよ（喰呑生）▲同上氏に關す貴示は大に參考と相成申候誠に有之候得共近來小紙記事の延着の爲めの效益も有之候もの私共にては其内容を得べく候事を御了承を乞ふ（係）▲軍司令部に御達しの奉仕者にて調達する七年度徴兵檢査受檢者に京城郡に居ることは六月頃の新聞紙で見ましたがその後音沙汰もありませんが至急給せるとものでせうか又給せらるゝさすればごんな手續が要るのでせうか本欄にて御教示を願います（受檢者）

近海運輸状況

帝國海運界は近海も傭船料も大差なく今後御用船の喇叭と共期間によつては今後運賃及び傭船料に一層非常八圓にて石炭を、細島丸は若松椿太閤八圓五十錢にて石炭を、海城丸は八月渡し噸當り四十一圓にて新造船所の新造船一隻（重量噸五千五百）は八月渡し噸當り四十一圓にて契約成り秩父丸は五十萬圓にて買ひ進み五十圓高に次ぐに五十圓高を以て賣買され遂日砂々商談なかりしにも拘らず成行に連れて當用品の買收を試みなれば安値毎に買物遲加し到底深格別の惡材料なくして折目買人氣

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥
ヂケスチン
食慾が進まない時に食慾を促す 元氣が衰へた時に活力を與ふ 貧血のものには血液を補給す 精力の增進と體質の改良を促す 胃腸疾患に本品を最も推賞す 說明書進呈
東京本町 藥種問屋

大寶燒酎
一度飲めば外の品は飲めなくなります
大連市 大寶燒酎製造所

ちゞれ毛
ドンナ縮れ毛でもゲキに直り皆さんが喜んでお出です

一冊お困りの方に無代進呈致します
東京淺草山ノ宿町五十一 丁巳堂

富の道しるべ
山路五十雄 村上唯吉共著
價十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替京城三〇一 東洋代理部

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .70 500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the present. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

人參を主藥とし之に沃度及臭素劑を配合せる
◎ミツワ複方人參錠（みつわふくはうにんじんぢやう）

主効
動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、神經性心悸亢進、心臟肥大、脂肪心、心臟內膜炎、心臟神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、貧血、營養不良、精力減退、老衰、腎臟炎

本劑は鐵劑ある沃度加里を含有するが故に病的產物の吸收並に排泄を促し、健全なる細胞を新生せしめ、且血管壁に於ける石灰沈著を防ぎ、血液の粘度減少及血管の擴大を誘起し、以て動脈硬化、動脈瘤、腦溢血及前揭の心臟疾患に卓効を擧げ、又鎭靜劑として人參以外臭素加里を含有するが故に、神經系の過敏を緩和し、知覺並運動裝置の興奮性を下降せしめ、中樞神經系に於ける殊に就中神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、心悸亢進に偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血を治し得べく、人參の有する利尿、強壯等の諸作用に依り、腎臟炎に於ける尿蛋白、浮腫等を除き、營養不良並貧血に應用すれば、皮膚蒼白、食慾缺如、筋肉瘦削、心窩苦悶等の諸徵を回復し、尙ほ老衰を防ぎて能く精力を增進する等の著効を奏す

◎ミツワ複方人參錠適應症候
一、心悸の亢ぶり易い人
一、心臟部の緊められるやうな人
一、心臟部の痛い人
一、心臟に故障のある人
一、呼吸の促つて苦しい人
一、胸内の苦しい人
一、中風の氣のある人
一、半身不隨の人
一、卒中を豫防したい人
一、動脈の硬くなつて居る人
一、手足の冷める人
一、水腫のある人
一、身體の倦怠い人
一、筋肉の萎縮んで居る人
一、皮膚の弛むで居る人
一、顏色の蒼褪めて居る人
一、頭痛に惱む人
一、眩暈に苦む人
一、時々氣を失ふ人
一、元氣良く活動したい人
一、延命長壽を願ふ人
以上の他ミツワ人參錠を服むべき人は之を用ひて宜し

定價 百錠入金七十錢 五百錠入金三圓 內地以外は運賃を加ふ

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

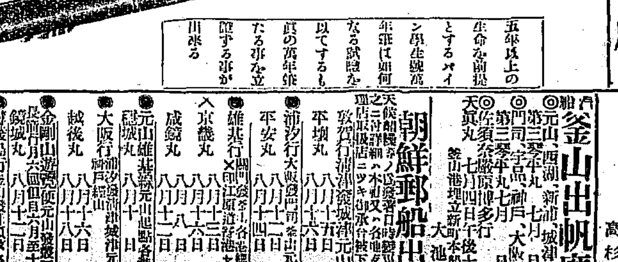
主効
神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、胃腸炎、貧血、老衰、食慾不良、精力減退、催眠、利尿、健胃

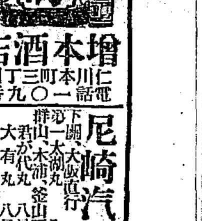
本劑は鐵劑の諸作用を具ふるものにして、其治的效用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、意志薄弱、精神興奮、讀書計算不能、思考力判斷力記憶力減退、不眠不安、頭痛、偏頭痛、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精、陰萎等に對して偉効を呈し、頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、更に之を慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫、胃腸病、子宮病、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、癌腫、梅毒、神經病、諸種傳染病等に因る貧血並に營養不良を回復して、蒼白なりし皮膚をして強壯なる血色に變せしめ、體力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し頭腦を明晰にし、意氣旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等比類なき卓効を奏す

◎ミツワ人參錠適應症候
一、頭が重く或は痛く頭内が騷がしい人
一、腦が疲れ易い人
一、眼が疲れ易い人
一、學び上げて苦しい人
一、眠らうとして眠られぬ人
一、夜される夢を見たりする人
一、人の聲に氣にかける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しくもないのに泣きたい人
一、精神の動揺する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へる事の出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、終りに起つて根氣の出ぬ人
一、何時も疲れ易く萬事に捗らぬ人
一、血の道に罹つて居る人
一、除萎や遺精で悲觀する人
一、腎臟炎に惱む人
一、產前產後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、勉學をして直に疲れる人
一、勞働して疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人
一、筋骨の疲勞を速に癒したい人
一、精力を強くしたい人

定價 百錠入金五十錢 五百錠入金二圓 內地以外は運賃を加ふ

百円進呈
りんばい病毒（請合藥）
特製壹圓 特製貳圓
帝國醫科大學病院に賞用
分析料百圓
にせ物 東京を始め京城、龍山、仁川、沙里院、鎮南浦、平壤其他到る所我商名包裝を模造し甚しきは丸形まで似せて……
有田鑑製
發賣元 大阪 ドラッグ商會本部
京城南大門外停車場通
電話二五六七 振替京城四六七
支店 京城黄金町三丁目電車通 元山本町 龍山 釜山大廳町二丁目 仁川宮町二丁目

パイシン（學生號）萬年筆
金貳圓八拾錢
送料 鮮內無料 外二十三錢

五年以上の生命を前提とするパイシ學生號萬年筆は如何なる試驗にも以てすることも眞の萬年筆たる事を立證する事が出來る
發賣元 京城日報代理部
京城太平通 電話構內十八番 振替京城三〇〇番

天下一品

白鶴
増本酒店
仁川本町三丁目 電話一〇九番

尼崎汽船 仁川出帆
下關、大阪直行 大有丸 八月八日後四時出帆
君が代丸 八月十四日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五九番 高杉回漕部

釜山出帆廣告
第三琴平丸 七月 日後四時出帆 門司、宇品、神戸、大阪行
第三佐須奈丸 七月四日午後十一時出帆 佐須奈、嚴原、博多行
天其丸 釜山港理立新町 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
平壤丸 八月十五日 元山發
平安丸 八月十四日 元山發
成鏡丸 八月十一日 元山發
京畿丸 八月十二日 釜山發
雄基丸 八月十六日 釜山發
咸鏡丸 八月十三日
越後丸 八月十八日 元山發
大阪行 釜山發
錦城丸 八月十一日 元山發
全羅丸 八月十日
江陵丸 八月十三日
濟州島行 八月十二日 釜山發
濟州丸 八月九日 木浦發
南陽丸 毎日一回 仁川發
海州丸 八月十三日 仁川發
金海丸 八月十三日
木浦丸 八月十四日 木浦發
多島海行 公州丸 八月十四日 木浦發
釜山麗水線 順天丸 八月十日 木浦發
巨濟丸 毎日 釜山發
其他各寄港地に荷客取扱店あり
京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店 電話二七〇番

大阪商船出帆
神戸、大阪行（仁川出帆） 友鮮丸 七月 日後五時出帆
群山 大阪行 安東丸 月 日 正午出帆
清津行（元山出帆） 八月八日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 須磨丸 八月七日 後九時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 八月十二日 前六時
基隆丸 八月 日 後六時出帆
內地各港出帆主要航路
歐洲航路 毎月二回
南米航路 毎年四回
北米航路 毎月一回
南洋航路 毎月一回
御注意
大阪商船株式會社 仁川支店 電話二〇番
京城出張所 電話五七番

共同汽船 仁川出帆
阿波共同汽船會社
共同丸 八月九日 後入港 八月十日 前出港
大連商行（關東都督府命令航路） 朝鮮鐵道主要驛に於ても取扱ふ
仁川代理店 本町四丁目 野口商會 電話一七三番
元山代理店 春日町 田口回漕部 電話一四七番
京城取次店 南大門 河村運送店 電話二七六番

日本郵船 仁川出帆
大連、天津行 相模丸 八月十八日
酒田丸 八月二十八日
高砂丸 八月 日 船客御斷
仁川海岸町一丁目（電話十番） 堀回漕部